再考

いふへらくことだまの幸(さき)ふ国(くに)ことぶきの
ものゝふる道(みち)とそいへハしもよく幸(さき)ハゝれハ神乃
さきくへまして通(とを)ふるうたなきをいふ也
これ古(いにしへ)の中(なか)の言(こと)しも神の代のよ(かみ)がよふる言(こと)を
人の代乃末(すゑ)ともまもらまほしくて俤(おもかげ)へいふ也ちゞのものも
これ(ふつ)なのこゝろもこゝろしてあやまちくもく
ふるいこの言(こと)祝(ほ)のさち(さち)よたゝしもあるへきハ末の
代の人よいてふるもことをよくこゝろえそめ

古言梯序

春靜堂藏書記

そのそよぐをとこばのごとおぼしてゐ（ま）へ
やくきるものからとされり。るの中るるき
ことどいおぼゐる。ものかくろへて。そもそもハール
さめてまゐ（ま）ごくもなるると。てー梅雨の
魚売かく茂のそもをよつまてをのまき方位も
に。よつ代のをまれだつるー。ふとちいよへをくふ
ふむこころまゐすてぼのそのおの言をそーるる
をれへ古のみ。なひろくちへようくきまへて。

たがつるよめぬー。のふるとを挙（あげ）さいなるくま月（つき）を
弱つ。まるつめよるるよ大人のしとひ友るもろ
として。逸（つひ）よしひ。まるもるたるまこと
つよめたるいさほーさいたるるの心。その申よいすーま
きあぐる人ことをよづきら世ば。よぶはれさちをひ
たまけて。ふーのろの百隈（くま）やハる氓（くま）までふの心。思
たくらいはざらめや。あよふめざらめや。

明和二のとし四月　蓬原の亡方位がしよ

附て云

魚彦

○言の上中下に、ゐゑえを誤るなどのたぐひ、又言の下なる波を和のごとく、比を伊為のごとく、倍を延恵のごとく、保を乎於のごとく唱へ、或治自頭受などのたぐひまで、古の書に書すべて違ふすぢなく正しくあれば、今の世に近き頃和字正濫など出て、さる言どもを書つけたるなり。まことにそのおぼつかなき事見でて、古の書らをひろく引き對へ記せしなり。後世人の私にいひはじめていへるもの、類になりぬれば、よるべきところも多かれど、なかなかいひはら置のおきてなり。且いまだ考へ得ざる事の多かるをいかにせん。その古人に問へば彼此いまだ一定まらぬ案なるをも、或人言ひて世に弘むるなりや。さいへりくさごこそなりぬ。其言の出る所ゆゑよしなどを記せし八十が三つ四つなり。此度考へ出たる言はすべて千八百八十三言。悉故よしを挙たり。又古書に仮字の見えざるをも彼是通りして知らるゝは、そのよしを記しつけても、なほ古に考るよしをはぶける一つ二つは、知るをも知りたりとは見えざれど、かの故よしをいはせしにも多く見えたるをあげんにや。且ひろくおもひはかれどもまれなるもあるべし。これらは後に尚もよく考へしつべし。すべてなほなほ方々にさらば私の考へにいれんことをねがふのみ

○和名鈔には夾纈をかうけち、萱草をくわんざうなどの字音をも出されど、皇朝の言ならねばのぞけり。又郡の名の名のたぐひに字音のごとく変はるもあれど、これらも皇朝の言なるを音のひびき合字を借て書るものなり。いはば郡に英多和名安加多伊多、育波和名以久波のごとし。故にそれは仮字にゆづりつ

○訓の如く略して字音なる類をいへば

○えに 縁　○らに 蘭　○てふ 蝶　○せち 切

○くゑ 法華経をほくゑと読まれたり　○ぐゑんじ 源氏

○へんぐゑ 変化

古今集物名に

○きちかう 桔梗　○しをに 紫苑 和名同　○ばせをば 芭蕉 和名同　○さうび 薔薇

○けにごし 牽牛子　○くたに 木丹　○はくわかう 百和香

和名鈔に

○もくらに 木蘭　○のせう 陵苕　○りうこう 林檎　○もけ 木瓜

○むくれにしのき 木欒子　○さくなむさ 石楠草

○とうしみ 燈心　○はにざふ 匜　○かうけち 夾纈

○くのえかう 裛衣香　○さうじみ 正身　○ずさ 従者

物語に

○わかんどほり 王家統　○すざく 朱雀　○せうそこ 消息

これら皆略しつ

○例をもて知らるゝは省けることも多し。然れば物の名に大何小何などいへる大は於部、小は遠部にあれば

おゆづくり

○古言の使ふべきこと中よ。新撰字鏡てふ書ハ。古き世の書目録よ字鏡やいへる
ハ。其字鏡ハいや古へ出来しが。それよ次て新撰を作りしゆゑ。是を吾友村田春海てふ人京よ
ら携さへ帰て実よ古云多く。俚字も古よかなへり。是を吾友村田春海てふ人京よ
捜へる時ゆゑ多くほて。いやはやろこびてとりしを。いやはやろこびてとりしを。
ろ一言の多きも多く。いやはやろこびてとりしを。いやはやろこびてとりしを。
加波比と良古を訓。をうしやいへる俚字の出る不知でかし。可咲を阿奈乎加
志やよ免るるぐひあり

○諸國の風土記。伊豆ど出雲風土記や豊後風土記のかた人のみ遺れり。其外ハ
北記の伊勢る時よ書る物よりをバやう国近き代ゆゑ。ものの風土記の逸れるぞをうる人も
ありぬ。○神樂。催馬樂。風俗哥の古本ハ。古事記日本紀よ均くかる。ハ古事記を挙て紀円や書。字鏡
皆眞字とて書給へて俚字古へよ
○日本紀竟宴哥ハ。皆も眞字もて書て古き書やハんゆゑの。あか牧しき
比記の伊勢る時よ書る物よりをバやう国近き代ゆゑ。ものの風土記の逸れるぞをうる人も
ありぬ。○神樂。催馬樂。風俗哥の古本ハ。古事記日本紀よ均くかる。ハ古事記を挙て紀円や書。字鏡
皆眞字とて書給へて俚字古へよ
○日本紀竟宴哥ハ。皆も眞字もて書て古き書やハんゆゑの。あか牧しき
も交れる後の人のうしや書やて倶しやれぞを捜やるべきものハやうつ
○證やるものハやや人ハ古事記日本紀よ均くかる。ハ古事記を挙て紀円や書。字鏡
和名よ引きい字鏡を挙て和日やれ古きをもて先やするの化もたり

○古事記日本紀等の俚字ハやうく字音を用て訓を交へたる。津の字の如訓を用ゐる又漢音ハ
上代のうつる用ゐる字ハ吳て字焼和名ぞ多くハ清てハ古へ漢音よ用ゐる又古へ呉音よ用ゐる
字焼ゐるを字焼和名ぞ多くハ清てハ古へ漢音よ用ゐる又古へ呉音よ用ゐる
書べうしを中つ世の下やありて。木止呼江女井等ぞの訓をしを用ゐるハその訛よ
ありよるありけれやうつ万葉集よハ訓の俚字多しこハ字音訓語義訓正訓戯書
ぜもぞの俚字を用れ
書。地ハ地の某
ありよるありけれやうつ万葉集よハ訓の俚字多しこハ字音訓語義訓正訓戯書
ぜもぞの俚字を用れ
書。地ハ地の某
なくてくさくやんよりせて書やりしを。おのれ書よりしくハお書よりて又よ
用ゐを訓ふよりて今ハ字焼和名等をりしくハお書よりて又よ
○一言の條よ出る。清音濁音。清濁二音半濁音。二字一言等ハ古事記日本紀万葉集
等ぞの俚字ハ四聲よかりしくて用ゐる古例ある
○草木鳥獣等ぞの字ハおぼつかなきをあれや忘ぼくく字鏡和名等よりぬ。
字ハかりのおをしで用訓しがよおしてる。俚字をその音よりて用れバかるおよ彼し
○すべて言のかハ五十の音よりれる。俚字を五十の音のうを定いへりやれやうつ
五十の音のうを定いへりやれやうつ
始をのみいひて五十音の方づの言よ用ゐ道を委しくいひなるハかし。天空の言
を書ねもて人えバやうつ世よ伝へぬるべしかるを荷田大人東万呂共稲荷の神社

いさゝか古傳のうをもて。天下の古書を廣くさぐり。此言をばなく考ひて。吾が義縣さま傳ふさて後は縣をひろく考ひくおもひうを加へ。て語意てふ書を記せり。それより五言の竪音ハもやよりうみて。横韻よ體用令助平言等世よ傳へぬくさぐくの道理をあ〳〵。清音濁音の通ひ本濁假濁おやのうすこゝちくの傳うをやいへやもかゝる事を筆て知るうこのあるねバ是よいにゞ

○或人吾友に向ひ。假字づひてふせのいやーを上つ代よハ有るべきよ有〳〵。文字渡りて後音韻四聲よりて。又ハ惡曇よりてこやうを定もあるべしいづれも吾國のすやいハゆるぶかる〳〵やう。天竺よりと云字てふおハあるべし。その音のもとーやせーろう。その形よ音のうをおもふいやし後の世のあるーぞやがくて皇朝の言のうをいさゝかいひいねおやの假字を用ひうまハ他の國の音韻四聲ふを惡曇よりもよれるよ有〳〵。文字ハ後よそへるよのーてもやハ言の主よう出つれバ。その言をいまうよ音韻即口の内よりる先ういまくもかーこけれやを億計王弘計王を申すハ御兄弟よたりーて云も同じーみやうふおりーつれバ億やも弘やも交へ用をあ〳〵ハいづれ御兄いづれ御弟やもろつべうそれのみもの有〳〵。上つ代よりいひ出る言の上をトへいひみけるうやを冠辭よ多くれやいねおやの言一つゞんまぎうす

まみむめもや　ばびぶべぼハ通り。まを倒くなをへバかづうをかむりけづうをけもりやえぐひ皆此ころ武無をぶやもむやもよみ麻馬をばやもまやもよむめぐうびうみうむるをまりいつう百言をくなみ人かあうやをまてかあうやをよむやきぐひまて語ふ

あ〳〵そうよ文字をつく人ぬやねのす吾国の言の多くるを見よかみ凡の伊勢やいひばるがみねの人やいひみおぞこみをみのやをや先やいひそくかそふたおかつのみのおぞいひけー言よいねをたおやまず〳〵重うよの有〳〵ハまひ後よ秘をおうけて字を書ろうやもろつ。

よーおう〳〵旦東国の男女のおのづうろひ出せー國凡を多く万葉集よ載ーおいぬえ。

吾国をれの言のげち先うふすおる〳〵文字よよう〳〵てろれーう先べー古の東人ハふまの有韻をおよてせハうバたもれバ古をこひばう久ー。かくの如く上つ代の言ハおのづうろうるうのやーきおでよおんあるその正しき言のおをうう一俗へ一俗字ありて多くべきよのあり。俗字の速へるハ即言のすへうあり。

古書ハ古事記よりはど先て変表承字のうまおるやでの書やもあり。それより後の書ハやうくよこまれるうのれバやえ〳〵ハやおちうく後の世よ多く俗字のすよ人あるも皇朝の古書をバよみうきて云ハみる古へまうひて私のうぎうれバ論ふよあゝにゞ古き書よ古るーうふ依て五十連の音をもてうをうろをもやむるよたゞふまおーて吟げーハすん但ひがえろ

古書をうやいへやも私を立んやすん人ハがてよする人ころみよ私を此ひがえろ

後よ此國よ渡りーうのあれバハよあゝにゞ

○次ハ五十音よもてゞい條ハ一言よう四言五言やろちぬ

古言梯

○安部

一言

あ 安。阿。婀。鞅 音之 古事記 日本紀 万葉集 假字 下同

二言

あは 穀也 古事記 阿波日本紀 同 粟

あは 固 阿波 万葉集 同 淡

あは 國之 阿波 又 安房

あは 和名鈔 阿八 飛騨鄉之 和 安波 阿拜

あは 魚之 圍 阿地 和 同 鯵

あぢ 古 阿治 紀 同 味

あを 色之 古 阿 表紀 万 同 青

あを 藍

あわ 固 阿和 紀 同 沫 泡

あわ 水上の泡なり 万葉集 同

あを 漢草字鏡 和 阿爲

あはく 固 阿波 くしきあり

あ 一	か 十七	さ 九六	た 九三	な 四十	は 四十五	ま 五十二 五十九	や	ら 六十五	わ 六十六
い 四	き 九一	し 九八	ち 九五	に 四十一	ひ 四十七	み 五十四	い 既出	り 六十五	ゐ 六十七
う 十一	く 九二	す 三十	つ 九六	ぬ 四十二	ふ 四十九	む 五十六	ゆ 六十	る 六十五	う 既出
え 六十二	け 九四	せ 九一	て 九八	祢 四十三	へ 五十	め 五十六	え 六十二	れ 六十五	ゑ 十三
を 十四	こ 九四	そ 九二	と 九八	の 四十四	ほ 五十一	を 五十七	よ 六十三	ろ 六十六	ん 六十九

古 古事記　紀 日本紀

續紀 續日本紀　續後紀 續日本後紀

詔 續紀 宣命　式 延喜式

祝 式祝詞　万 万葉集

新万 新撰万葉集　字 新撰字鏡

和 和名鈔

此外の書名ハ全く挙

三言

阿桑 若狹つく 和阿乎

肖 あやかるあり 紀阿叡

壬 阿流之 古本風俗哥

棟 木之 五 窠幕 知室 和 可

小豆 豆之 醫阿 豆枳 和 可

薑 草之 和 阿之爲

小豆 あふち

栗田

綱代

あへ 饗之 和 筑前ノ饗應ヲ久波倍ト云リ久波阿倍ヲ約ムルナリ

あはび 貝之 紀 婀波 窠 五 和 可 鰒 石決明 又鮑

あはき 木之 古 阿波 岐 紀 和 可

あふち 木之 五 窠幕 知室 和 可 楝

あふひ 粟生 古 和 阿波布

あふこ 物を着ふまじ 古今集 逢期ヲ 古 今 和 阿布古 布保通 扨

あふご 古本風俗哥 阿流之 壬

あはび 貝之 紀 婀波 窠 五 和 可 鰒 石決明 又鮑

あへ 饗之 和 筑前ノ饗應ヲ久波倍ト云リ久波阿倍ヲ約ムルナリ

あふち 木之 五 窠幕 知室 和 可 楝

あふひ 粟生 古 和 阿波布

あふこ 物を着ふまじ 古今集 逢期ヲ 古 今 和 阿布古 布保通 扨

あふご 青礪之 和 阿乎度 礒 碆

あふし 草之 圀 阿保比 古今集物名 逢日ヲ 洽 和 阿布比 布保通 茨

あふぎ 和 阿 布岐 扇

あぶみ 鐙之 古 和 阿布美 近江 淡海

あへず 敵辭之 古 阿波礼 忸怩 阿怜

あぶら 万 安 良布 洗

あぶら 万 安 布字 曰 膩

あぶら 万 安 倍而 敢

あへぬ 五 堪ヲ安ノ倍年 不堪

あへて 万 安 倍而 敢

あへもの 和 阿倍岐 喘息

あぶみ 足纏之 古 紀 五 阿比 脚帯

あふぎ 天ヲ煽之 五 安布藝 仰

あぶり 馬具之 圀 和 阿不利 鞅

あへ 阿良波之 頭露

あぶみ 國之 古 阿布美 紀 近江 淡海

あづま 東國ヲ云 古 五 阿豆麻 吾妻

あづかる 當 アヅカル 陪 預

あたひ 當 アタヒ 易之 貝 加ノ約多之 價

あたふ 當 アタフ 陪 預

あたへ 與 阿多閇 あたふ

あてもの 阿てたて一ヲ云ル 同 室 阿和豆 惶急 周章

あてまつ 古本神樂哥 安波世 合

あてて 万 安 倍而 敢

あへぬ 五 堪ヲ安ノ倍年 不堪

あひだ 紀 阿比 娜 五 月 間

あひる 神代紀 阿曇播双不茂 又 雄畧紀 與一夜而振ヒ云

あふ 逢之 又相合會遇 古

あへず 敵辭之 古 阿波礼 忸怩 阿怜

あらひ 紀 阿羅 播武 五 あらふ

あらふ 万 安 良布 洗

あらひ 紀 阿羅 播武 五

あり 有之 古 和 阿利 障

あへ 饗之 和 筑前ノ饗應ヲ久波倍ト云リ久波阿倍ヲ約ムルナリ

あゆひ 足纏之 古 紀 五 阿由比 脚帯

あらひ 紀 阿羅 播武 五

あり 有之 古 和 阿利 障

あるじ 主之 古 和 阿流之 主人

あるじ 主之 古 和 阿流之 主人

あをず 青礪之 和 阿乎度 礒 碆

あをし 青 アヲキ 和 阿乎之 碧

あをに 青土 アヲニ 和 阿乎爾 丹

あをみどろ 青水泥 アヲミドロ 和 阿乎美度呂 水苔

あをやぎ 青 アヲキ 和 阿乎也岐 楊

あをし 青 アヲキ 和 阿乎之 碧

あをに 青土 アヲニ 和 阿乎爾 丹

あをみどろ 青水泥 アヲミドロ 和 阿乎美度呂 水苔

あをやぎ 青 アヲキ 和 阿乎也岐 楊

あをず 青礪之 和 阿乎度 礒 碆

あをし 青 アヲキ 和 阿乎之 碧

あをに 青土 アヲニ 和 阿乎爾 丹

あをみどろ 青水泥 アヲミドロ 和 阿乎美度呂 水苔

あをやぎ 青 アヲキ 和 阿乎也岐 楊

あをず 青礪之 和 阿乎度 礒 碆

あをし 青 アヲキ 和 阿乎之 碧

あをに 青土 アヲニ 和 阿乎爾 丹

あをみどろ 青水泥 アヲミドロ 和 阿乎美度呂 水苔

あをやぎ 青 アヲキ 和 阿乎也岐 楊

あふみ 伯耆郡ノ 和安不破 會見

會津

のいた 出羽郡ノ 和阿伊太 秋田

のはち 國ノ 和阿波知 淡路

あいか 出雲郡ノ 和安伊加 秋鹿

あひづ 陸奥郡 五 和安比豆

あいち 尾張郡ノ 紀吾湯市 万 年魚市ヤ 有 和阿伊知 これ〳〵のいハ平言ノ ツヲト

愛知

あさみ

のいた

四言

あゆち 美作郡ノ 和安伊多 英多

三河郡ノ 和阿乎波 碧海

のかふ 信濃ロノ 和安加布 赤生

あまの 淡路ロノ 和阿波加 平安

のわゆき 古阿和由 岐五和ユ 沫雪

あひむこ 姉妹の夫ノ 和阿比無古 婿

のひよ

のひむい 相老ノ相ハ阿部老ハ於部ヲ在 相生のヤやすハ訛

あきこび 清音ヘ 宝

のそむー 虫ノ 和阿

あしたづ 鶴ノ 和阿志比 曠

あゐふへぐ 足病ノ 宝足奈倍 和阿又那閉久 跛 蹇

兄弟の妻ノ 和阿比与米 妯娌

乎無之 螟蛉

あはがら 魚ノ 和阿波良 波我良良 抜歯魚

のまづら 甘菅ノ 宝甘ヒ 豆良和ユ 千

方槌を訓 宝椎 梗を訓 和牽牛

あさがほ

のーがひ 蒼茸ノ 古阿須訶備

あぢさゐ 草 五 宝 安治佐為 爲 和安豆佐為 紫陽花

のきぢふ 淺葺生ノ 古阿伎布 音便例ニよりて半濁ヨ字の如く唱

あをのり 海草ノ 和阿乎乃利 甘藻

花を訓皆阿佐加保

歳藁

のわたは 宝臓を腓我 支阿地波比 味

あへもの 古阿閉母乃 和阿閉 飲食

あむづち 和阿豆知 宮殿造阿 四阿

のらた 食堂ノ 和阿和之保 白盬

あぢ

のさかひ 和阿比 比衣 竹刀

あをひえ 和阿乎 比衣 射染

のづまや 和阿豆万夜 註 造作具和阿奈々比 麻柱

のふひ 和阿 無豆知 商估

へ 鹿捺ノ捺の訓多部よりノ

ほひ 宝臓を腓我 支阿地波比 味

あらそひ 奴ノ古不爭を阿良曾比 良婆波受 和曰

のしきかひ 父母ノ宝 阿支奈不

五言六言七言

あまのがは 天河ク河の訓加部ふたり 銀漢

あまむばの 万豆比 **蜱**

あをふよー 冠辞古阿表途余志和

あをひきくさ 人民ノ古青人草和阿烏比等久佐和比カ久佐 蒼生

あをやぎの 葦原 蟹 蜻蛉

あをによし 冠辞古阿閉豆久利 詳加肉倉操也 膳

あけびかづら 蘡薁和阿介比加都良 通草

あまのよさづら 和阿摩能与佐豆羅 天

あまのがへる 虫和阿末加閉流 蛙 黽

あまつかぜ 天ノ風

あまつかひ 傷熱ノ語熱咽 日暈字

あまつたひ 一ニ謂ヒ或

あまつさへ 餘訓ヒ剰

あまさふ

あまのかむばし 蜻蛉之小而赤也和阿加恵無婆 今やむまやみ

あまつまひ 虫ヘ字促

あまのさかほこ 安房郡又駿河遠江郷和阿尤比奈 朝東

あまのさかほこ 阿那而恵夜 妍哉

あつかひ 字阿也不志 危

あるひは 一ニ謂ヒ或 或

あゆかは 相摸郡和阿由加波 愛甲

あへづくり 和阿閉豆久利 詳加肉倉操也 膳

あへて 甲之 積紀 阿加良閇 敢

あはづ 越前郷和阿佐布豆 朝津

あはらがに 甲虫ヘ和 蟹

あまのよさづら 和阿摩能与佐豆羅 天

あしのさや 葦原 蟹 蜻蛉

あけびかづら 蘡薁和阿介比加都良 通草

あまのさかほこ 和阿摩能与佐豆羅 天

あへて 字阿閉豆久利 詳加肉倉操也 膳

あをによし 冠辞古阿表途余志和

あをひきくさ 人民ノ古青人草和阿烏比等久佐和比カ久佐 蒼生

あをやぎの 葦原 蟹 蜻蛉

あけびかづら 蘡薁和阿介比加都良 通草

あまのよさづら 和阿摩能与佐豆羅 天

吉葛

○以部

一言

い 以。伊。已。異。移。怡。易。夷音ヽ

二言

いそ 五十 二字一言 紀万以

いも 馬聲 日上 万以

いね 寐ヽ寢。眠。宿。膳。射五訓ヽ

いぬ 寐ヽ 泥万 紀伊祢万同又伊奴○古葦井 爲祢也ある、異ヽ

ぬ 獸ヽ和以奴ヽ惠奴 犬

いも 古紀伊毛也ヽ女子 カラ 妹

いか 介虫 室伊 加和同 烏賊

いら 小草生剌ヽ 室和伊良 苛

いね 古伊那賀良反 寝ル稻ヲ借ル 稻

いし 石 古伊斯紀同 又古紀五伊波

いも 署預和夜万都以モ 芋和以同都以モ

いみ 鳥和 伊微 鵺 鵯

い

いけ 古伊氣 紀和同 池

いひ 食ヽ紀伊比室 炊ヲ伊比加ノ久

いわ 五百、古伊

いへ 人の居処ヽ古 伊幣紀万同 家 宅

いし 古伊知和同 市

いた 本ヲ析ルヽ 古伊多紀同 版

いろ 五室 伊呂 色

いき 古伊岐又 放岐城又

いで 終詰ヽ配異捷 猷ヒ ヽヒ

いつ 嚴ヽ古伊 都紀同 稜威

いり 古紀伊理 万同又伊流 入

いり 古紀伊理 万同又伊流 入

いま 古伊麻 紀同 今

いむ

いる 和鎔炉加 鑄鐵形也 鑄

いり 古紀伊理 万同又伊流 入

いづ 國ヽ 伊豆

いづ 古伊豆 調伊天 出

いぶ 古伊者 紀同 率 又玄来

いえ いゆ やむ 癒 愈

いや 室和 伊乃 糸

いち 物を賣買処ヽ 古伊知和同 市

いへ

いそ 水際の石ヽ古 五伊籠室同 磯

いけ 古伊氣 紀和同 池

いろ 五室 伊呂 色

いで 終詰ヽ配異捷 猷ヒ ヽヒ

いつ 嚴ヽ古伊 都紀同 稜威

いま 古伊麻 紀同 今

いる 和鎔炉加 鑄鐵形也 鑄

いづ 古伊豆 調伊天 出

いぶ 古伊者 紀同 率 又玄来

いえ いゆ やむ 癒 愈

いや 室和 伊乃 糸

いち 物を賣買処ヽ 古伊知和同 市

いへ

いそ 水際の石ヽ古 五伊籠室同 磯

いけ 古伊氣 紀和同 池

いひ

いわ 五百、古伊

いし 古伊斯紀同 又古紀五伊波

いね

い

いも 署預和夜万都以モ 芋和以同都以モ

いみ 鳥和 伊微 鵺 鵯

いか 介虫 室伊 加和同 烏賊

いら 小草生剌ヽ 室和伊良 苛

いね 古伊那賀良反 寝ル稻ヲ借ル 稻

いぬ 寐ヽ 泥万 紀伊祢万同又伊奴○古葦井 爲祢也ある、異ヽ

ぬ 獸ヽ和以奴ヽ惠奴 犬

いも 古紀伊毛也ヽ女子 カラ 妹

いね 寐ヽ寢。眠。宿。膳。射五訓ヽ

いし 五十 二字一言 紀万以

い 以。伊。已。異。移。怡。易。夷音ヽ

二言

いそ

一言

○以部

和阿波郷忌部を伊無倍と有 忌

いひ いふ いへる 古伊布 紀 万同 又伊比 云 又言 謂

いく 古伊久 紀同 幾

いく いき

和筑後郡生葉を以久波と有 いくハ 生

いゆく 万伊加婆 加ば 往 又行

いや 紀 万伊夜 いよ 同 古 彌

いよ

國 和 伊与 伊豫

いせ 國 和 以世 伊勢

いが 國 和 以加 伊賀

三言

いろは 母 紀伊呂波 和同 家母

いろせ いろね 兄 古伊呂勢 又伊呂泥 和同 家兄

いろと

弟 古伊呂杼 家弟

いとこ 父の兄弟の子 和以止古 従父兄弟

いまし 汝 古伊麻思 字同 伱

いのち 古伊能知 紀 万同 命

いみな 忌名 字伊弥名 諱

いこひ いこふ いこへる 息を延る

是を続して休するなれは 古伊基能布 字伊己不 息

いびき 臥息 字伊比支 鼾

いぐち くちびるわれ 脣割 和以久知 兎缺

いひぼ いぼ 字贅 小肉 肬 伊比保 和以比保 又以手米 註 手足邊忽生如豆 強於肉也 いひぼハ常云いぼ いぼハ常云いぼのこと 肬 又疣

いつる 飛鳥を射る 和以都留 弋

いたち 小獸 和以多知 鼬鼠

いむき 小蟹 字伊牟支

蛸

いがひ 貝 和伊加比 貽貝

いるか 大魚 字伊留加 和同 鯆鮬

いそし

小魚 字伊和志 和同 鰯

いぐひ 出雲風土記 伊具比 魚名

いさり 捕魚 古伊射里 漁

いけす

和以介須 註 池ノ中ニ編テ竹籬ヲ養魚 簗

いちび 草 和以知比 在今編テ蓆ヲ為行纏 莔

いちひ 木 古伊知比 紀 万同 赤檮 又櫟

いたひ 木 字伊太比 和同 折傷木 又木蓮子

いぬえ 草 和以奴衣 香薷

いち

いちびこ 草 紀蓬蘽 訓伊致寐姑 字蕿 又葢 訓同 和覆盆子 訓以知古 いちびこハもやり 覆盆子

いきす 海菜 和以支須 海

髪

いくり 海底石 古伊久理 紀 万同

いさご 細石 字伊佐古 和同 砂

いはほ 高大石 万伊波保 字

和 巖
いはや 石屋ニ和 伊波夜 窟
いほり 蕃居ニ同 和伊保里 廬又菴
いがき
いらか 屋棟ニ和 伊良加 甍
いかり 駐舟具和 伊加利 碇
いびら 鞍馬具ニ
いがた 和伊加太ニ註 鋳鉄形也 鉗容
いくさ 戰ニ和 軍旅ニ以久佐乃不称
いはひ 五伊等布 仮足石哥同 厳
いやさま 五伊乃 末望同 暇
いまし 古伊麻須 紀五同 在
いつく 数
いかり 紀伊国之祝同 嚴
いのる 五以乃良波加宇 伊乃留竟宴哥同 祈又禱
いかる 甲伊加留 怒又恚 很
いはひ 馬鳴ニ和以波由 いばふやいえべる 嘶
いかだ 和以加太 筏小舟桴
いぐひ 戰船也云 軍
いぐむ 爭ニ古 伊牟美 挑
いづみ 出水の畧 泉
いやし 五伊也之 伎望同 賤又甲 劣
いやま 又重 茂
いやー 仏足石哥 伊都ノ ニ和五韻 以都ノ乃太奈豆毛乃 五
いづれ 五伊 豆礼 何
いかづち 紀以 祢同 雷又神
いかが 紀怡破毗 祢又祝 五祝同 如何
いづち 古伊豆久 五同 知古本神樂哥 又伊都 伊都古 何處 何路ノ
いる 古伊流 五同 至
いづる 五伊 豆流 出
いぬる 寢 二言 小出
いぬる 五以 奴留 往去
いよい 五伊 余与 彌
いざち 哀 カナシ 声ノ
いまだ 古伊麻祢 紀五同 未
いたー 古痛キヲ以タ多与紀 五同伊多久望和同 痛
いるる 古伊多 流五同 至
いづる 五伊 豆流 出
いかづち 紀以 祢同 如何
いづれ 五伊 豆礼 何
いぬる 寢 二言 小出
いぬる 五以 奴留 往去
いさむ 古伊佐 竟宴哥同 勇
いさむ 望伊 佐年 諫
いさみ 不受ニ詞 伊奈備 辭
いちじるし 頭ニ和 加之良乃 安加又伊呂古 常
いそぐ 急
いらつこ 雲脂
いづみ 國ニ和 以都美 和泉
いちばし 國ニ和 以奈八 因幡
いはなみ 國ニ和 以波美 石見

いづも 國、和以豆毛 出雲
いでは 國、和以天波 出羽
いなさ 遠江郡、和伊奈佐 神武紀哥伊那瑳ハ大和、 引佐
いなび いなみ 播磨郡、五稲日 和伊奈義 印南
いひぼ 播磨郡、和伊比保 揖保
いさは 甲斐郷、和伊佐波 石禾
いそふ 丹波郷、和伊曽布 石生
いなほ 武蔵郷、和伊奈保 稲直
いそゐ 信濃郷、和伊曽為 竿井
いくれ 越後郷、和以久礼 勇禮
いひの 安藝郷、和伊比乃 入農 農古ハ奴の假字也乃ヲ用ルハ後訛
いかの 讃岐郷、和伊加乃 生野
いむみ 筑前郷、和伊無美 生見
いくは 淡路郷、和以久波 育波

四言

いかづち 仏足石哥伊加豆知 和同 雷
いなづま 和伊奈豆万 又五言ニ出 電
いざなき いざなみ 神、古 伊邪那岐、伊邪那美 和同
いもうと 女子後生、和伊毛宇登 妹
いかるが 鳥、紀伊柯屡我 識万字和同 斑鳩
いかるが 丹波郡、和伊加留加 何鹿
いへばと 鳥、字伊倍波登 和同 鴿 又鳩
いひとよ 鳥、和以比登与 鵂鶹
いらむし 虫、字伊良 良虫 蛓
いひあり 虫、和伊比阿里 赤蟻
いなゝく 馬鳴、和以奈々久 嘶
いけにへ 祭の具、和伊計仁倍 犠牲 又餼
いけどり 万生、取 虜
いろくづ 魚甲、和以呂久都 又伊呂古 イ 鱗
いしもち 魚、和伊之毛知 鮸
いしぶし 魚、和伊師布之 鮔
いしがめ 山中亀、和伊之加米 秦亀
いたどり 草、字伊太登利 和同 虎杖
いぬたで 草、和伊奴多天 紅草
いへにれ 草、和以倍仁礼 兎葵
いきくさ 草、和伊岐久佐 景天
いちすき 草、和伊知須岐 商

陸

いもがら もー 芋並べ和以毛加良又以毛之 欸

いぱぐみ いごけ 草べ和伊波久義又

いぱぐえ 伊波古介 巻柏

いもぎき 頭上べ万伊多太伎ヲ字和ヨ 頂又戴

いーずも 柱下石へ和都義以之又以之須恵 礎

いたぎき 山頂へ和以太今俊 嶺

いぢ

のち 和以之乃知往岐倍中ノ國英賀郡ノリ 鍾乳

いちぐら 市倉へ和伊知久良 肆

いりもの 肉臛ノ和以利毛乃 膸

いかーへ 万伊介之

いたづき 労ヘ捨遺哥集上ノ平祝参ヲ係 和以太都岐往今之戯射箭 平題箭

いそーき さほー 紀伊穂国造文化実録ヨリ さほーも佐保の約曽ホて ヨ 功勲

いわいたぶむ 空営ヲ豆久利以刀奈牟ヒ訓

いぢ

いやちこ 紀以耶知挙 灼然

いぢ

いたづら 空ヘ万伊多豆良 徒

いつは

敝古

ないはーたる いそはー 万伊多波斯詔伊等保旨弥 労

る 南伊豆波前 偽又作

いぶせー いぶせみ 万移夫勢義 欝悒

いぶかる

いぶかー いぶかしぶ 不審之体言也 気振より出つ詞の意也成ハ対ヘ

いざよふ 吉伊佐用布 猶豫

いざよひ 比詔室ヨ 誘

いぶかる

いそがー いそぐの例動も同意 開

いへぶし 紀易陪迺毛詔ヨ 雖

いはむや 云の例 況

いそがー

いよいか 空木長負伊与ヘ加 森ヘ

いぢ

いさかひ いさかふ 祝伊須呂計比也ヘり呂也良通須良の約佐ヘ加也許又かよふ 諍

いさよー 空伊登奈志

いさよ

いさい先 万伊左佐米 卒爾

いさ

いひーろ 遠江ヲ和伊比之呂 邑

ほい 息競也 勢

いぶすき 薩ノ郡和以夫須岐 揖宿

いさいか 万伊佐乃可ヘ 耶

代

五言六言七言

いらつひ 先 いらつめ
家女ノつハ助語紀異羅苑比咩 和伊良子賣 郎姫 又郎女
の子 和伊 夜伊乃古 再従兄弟
いきすだま
和伊岐須太万 窮鬼
いやいとこ
従父兄弟
いときおと

いたゞげる ー
幼
いぼむしり
虫ノ 宇伊比保牟志利 和以保無之利 螳螂
いとこまろ
虫ノ 和以奈古万呂 蚰蜒
いさをぶさり
冠辞 紀異舎儛等利 万 勇魚取
いやがひ
貝ノ 和伊太夜加比 文蛤
いすぐはー
冠辞 吉伊須久波斯
いぬやまひ
いぬぢくさ
草ノ 和伊良久佐 羊躑躅
いらくさ
いへついも
和以閇都以毛 芋
いはぐすり
草ノ 和以波久須利又須久奈比古乃久須祢 石
つゞー
木ノ 和以波豆久之又毛知豆久之 宇伎苡芋訓曰
羊蹄
いぬちぐ

蘚
いはのかい
草ノ 和以波乃加波又以波久美 注 苺葉如ク
石韋
いぬびかり
雷光ノ 和伊奈比加
いぬづるび
いぬづま
さゝたちはせ
草ノ 和以多知久佐又以太知波勢 連翹
いきぞへるー
紀異択通倍呂久哉 万伊支止呂志 憤
いきぞほる
いちはやー
視一速比 巖捷
いちごろく
五伊知之路久 灼然
いちはぐき
和以之波之岐 注建大木ノ置石其上発機以投敵也 旛
いらくげく
古伊良那祁久 万 日
いぬのかみ
大和ノ国添 紀伊須能乃美夜 神
いすゞ
いつきのみや
和以豆岐能乃美夜 斎宮
いくはぐころ
射数貝ノ土古路又阿無豆知 和以久波 射梁
いもうとせ先
伊勢ノ国在 五十鈴川 五十ハ以部鈴ハ部川ハ加部ノ訛
がは
宇和苔ヲ伊良ヽ訓ノ那祁久ハ辞 宇書苔煩ヽ急ヽ
宮
利又伊奈豆流比又伊奈豆万 電

妻の姉妹ノ和伊毛之字乃免 姨

いぬかひぼー 星ノ和以奴加比保之又比古保之 牽牛

いぬの

いたちはゞかみ 木ノ和以多知波之加美ノ保曽支 蔓

いそむふせぐ

いぬまひ 犬吐ノ和以奴乃大未比 犬心

いねつきこまろ 虫ノ和以豆支古万呂 螽

椒

里 鳥ノ和レス奈於保世度里 不保通 稲負鳥

〇宇部

一言

う 于宇汙紆烏有雲禹羽

二言

うま 紀宇麻方同 ヤカヲカ牟麻ヤ加ノ留ハ皆宇ヲ牟ト誤 馬

うを 古宇衣紀万同 ヤカヲカ以衣ヤ毛ヱハ後ノ勢ノ 魚

うぐひ

うま 虫ノ古宇士字同 蜻

うめ 木ノ五烏米和同万同一本牟梅ヤ加ノハ宇ヲ牟ト誤 梅

うり 蔓卅ノ和宇利古本催馬永同 瓜

うる 草木ヲ植ヱうるヤハえべうゝじ 古宇恵紀万同古本凡俗哥宇和流 殖

うゑる 飢ノ神武紀瞋怒推古紀伊比尓恵ヨヤカヲカノハ宇ヲ畧セル句ノ字餓ヲ伊比尓宇ヱト訓ウエルうえるなどえべうべ 飢又饑

うず 著ノ紀者古宇受紀同 髻華

うづ 水廻ノ五宇頭ツ ホ 渦

づ 紀珍訓于圖

うび 万宇比又古今物名 初

うへ 捕魚竹籠紀宇倍 筌

うへら 古紀語宇倍又紀宇毎 詔

三言

うぢ 氏と 万山城郡宇治小倉て書り和 姓 又氏

うぢ 讃岐ノ氏部を宇治倍也ノ 和宇知 宇治

うへ 古宇閇紀又羽播 上

うべ

うなね 童の髪を垂れ 字和宇奈爲 髫髪

うはを 和宇波乎又伊万乃乎宇乃 後夫

うぶ

うぢら 豆良 鳥ノ字宇 鶺

うばら うまら 万宇万良和常陸郡ノ茨城を宇波良岐 荊

うまし 古宇麻良

うしほ 古海潮紀于之良和同 潮

うちは 和宇知波 團扇

うけひ うけふ うけへ 哲言約ノ祈ノ咒咀ノ古宇気比又宇気布 誓

うけ 紀于麻師又于麼伊祢宇麼佐閇るやのうまハ味をもとめて万乃るみひやまもりふよろづをも可美 可怜又旨

又汝

頸後ノ字宇奈自和同 項

うたへ 袁上和刑部着を宇多倍多ク須都加佐 訴

うたふ うたへる 詠表古宇多日紀同 歌

うつほ 和平天河を木乃宇豆保乃義豆 空

うなひ うなふ うなへる 三代実録憂ル比 憂 又忡愁

うはぶ 甲斐ノ和宇波土 表門

うばひ うばふ うばへる 強て取万有婆比宇波不 奪

うすひ 上野郡万宇須比曾 碓氷

うはぶ 万曲 馬苞

うすらひ 万宇須良比 薄氷

うはがひ 衣の前ノ字宇波加比 衽

うまぐは 農具ノ和宇麻久波 馬杷

うまび 草ノ和宇

うまか

四言

うはとり 古宇波那理紀和同 後妻

うぐひす 鳥万于良比須古今物名和同 鶯

うまし 馬飼ノ紀于麻柯比 典馬 和圖人

うまひ 万宇須良比 蝮蛇

うまびしゃ

うまか

うまし 馬飼ノ紀于麻柯比 典馬 和圖人

うまぐは 農具ノ和宇麻久波 馬杷

うまび 草ノ和宇

うまか

うやまひ うやまふ うやまへる
仏足石哥 宇夜 麻比旦 翻乳ホ比 恭 又敬

うるはし うるはふ うるはへる
宇曽 保須 潤 又遇

うつろひ うつろふ うつろへる
万 宇都 呂比 古本神樂哥 移

うつせみ
諸万 韶 宇豆乃比 祝 宇豆乃比

うかがひ うかがふ うかがへる
古宇迦ム波久 紀 于介 伽卑旦 宇加ム不 窺 又伺

うたがひ うたがふ うたがへる
比不 倍通 疑

うち
打延ム 新万 打槌

うづま
日向ノ口 和

うりふの
上総ノ口 和 宇曽比豆 濕津

うるひづ

うらぶ うらぶる
三代実録 失比

うら

うなゐ
古宇流波 斯紀 万ノ 義

うるはし

うまふいき
野菜 和 宇 末ム岐 牛蒡

うまきたり
草ム 和 宇 末支太之 鱧腸草

うたがひ

うら

宇利 布乃 瓜生野

五言 至十一言

うはそひ
宇波於曽比 褊

うつはその
和 乎曽 宇都波毛乃 園

うへのきぬ
和 宇倍乃岐奴 註 著襴之袷衣也 袍

うづくまる
宇豆ハ 紀 禹豆麻佐 祝 宇豆乃 幣帛おぞ云宇豆ハ ノ口 古今本

うまらかをやら

うたへあひ

うたひのう

うらぶひ

うらぶ

うまらかをやら

うたへあひ

うたひのう

うらぶひ

うらぶ

うまひのつかさ
官名ム 和 宇多倍多ム 須都加佐 又伊勢ノ刑部ハ旅佐加倍也ノ刑部者

うまはらぐつわ
鞍馬 奠 和 宇 波良奠都わ 蒺藜衙

うまや
官名ム 和 宇多 末比乃豆加佐 雅樂寮

うまひのつかさ

うまはらぐつわ

うまや

のひあひ
草ム 石龍蒭 宇牟乃比太比 和 ノ宇 石龍苣 宇牛乃比太比 和布加豆義 宇ノ

ま
和 宇比太 非能宇麻 蕺星馬

のひあひ

ま

ふるかみ
紀 于魔羅你烏 野羅甫屡柯佐 義 飲喫哉

ふるかみ

古言梯

○恵部 遠くに云ふ故八和行に出づべきを ふ多くよこしまに行くえの如き也 行と一ホよりり

一言

え 恵。衛。回。隈。穢。會。繪 音ヱ

咲。餌 訓エ

二言

えぬ 獣ヘ 和恵 奴又ヌ奴 犬

えぐ 菜類ノ烏芋ノ小者ヘ 万恵具

えみ 草ヘ 字恵弥 又安万奈 和於保恵義 又夜末恵義 黄精

える 刻ヘ 仏足石哥 恵利 字則 名久自利恵当

三言

えね 和銚ヲ加 布良恵利 鍬 又鋤

えみ 笑 古恵義 万恵麻波之

えぢ 酒ヲ ふかり 古恵比 万字弓 酔

えそ 能登ヘ 和恵曽 越蕷

えり 和恵乃利 荘 磨牛馬肉 取鷹雞餌之義也 殺生及屠牛馬肉 取賣者也ヘ或説今の恵多ヒ云者ハ此恵乃利の轉訛ぜいへり 屠児

え 犬ノ子ヘ 和猟尾草ヲ 恵奴乃古久佐ヒ有 豕

えくぼ 人笑時頬ノ ふくる見 字者 和恵久保 靨

えくり 阿波ひヘ 和恵久利 殖栗

えくゐ 味ヘ 和恵久之 醯

えらぎえらく 笑ヘ 万恵良恵良ホ古 爲樂又咲樂 韶恵良伎 悦嘘

えの 字書嘘者 大笑也

えぐ 字出気息忿呻吟ヘ 恵奈久 喉

四言

えみぐさ 草ヘ 和恵義久 佐又安麻奈 女蔵薙

えぬのこぐさ 草ヘ 和恵奴 乃古久佐 猟尾草

六言

○袁部

一言

を 袁。遠。乎。呼。弘。鳥。鳴。鳩。怨。越。叫。悦。廻。音ミ

雄。牡。尾。小。廿。緒。絃。麻。苧。峯。岑。岡。丘。侵。笑。訓ミ

男。陽。夫。士。丁。

二言

をお 父の兄弟ミ 字乎地 和ヨ 伯父 叔父仲父季父ヨ

をば 父の姉妹

をぢ 紀烏賊 万ヨ 老翁

をい 兄弟の子ミ 字和乎比 甥

をー 鳥ミ 紀烏 志和ヨ 鴛鴦

をー 古乎 志紀

をじ 字乎婆 和ヨ 伯母 叔母

をし 愛惜、 万ヨ 愛 惜、 をしむ

をーを 古袁須又 袁勢 和ヨ 食 をせ

をそ 水獣ミ 和乎曽 獺

をり 偽ミ 万於保乎曽杼里の乎曽ハ今ヲ宇曽ミ悪め

呼嗟 二字一言 和袁乎

姑洗部

一言

を 乎。能。斧。

をげ 麻苧ミ 万遠家

をけ 汲水器ミ 和乎計 桶

をき 草ミ 万乎 伎 字和ヨ 荻

をか 土高處ミ 古表加 紀万ヨ 岡 メ丘

をき 万乎 左 長

をさ 獲具ミ 字乎太 和ヨ 工具ミ 和

をの

をこ 古表許 紀子古 をこがまー ヨ

をち 阿波郡 和乎東 麻殖

をち 紀烏智 万ヨ 遠

をち

をり 万乎 利 折

をる 古表理 紀ヨ 万乎流 居

をけ 懊声ミ 紀魚越ミ 唯ヘ

をと 乙女ヲミ書ハ誤ミ乙の假字ハ於登ミ 少女 又幼女 處女

をとこ 古袁登古 紀万ヨ 和乎乃古 男

をとふね 字乎不乃和 字宇カホミ有 夫ミ 聲

をとめ 紀烏 具奈ミ 童男

をとめ 古袁義那 古本催馬永 字 ヨ 遠無奈ヤ喝ハ音便 女

をとめ 女なミ 古遠登 賣 紀万ヨ

をとり 男ミ 烏 和

をとこ 長女の名ミ 和乎佐米 專

をぐ

乎土里 雄 をだり 和 女養雉子至冬狩人之能招引野雉也 乎度利 媒鳥 をぶくり 万乎抒里 宇乎抒 踊 又曜

をろち 虫ミ 古遠呂智 和 同 又倍義又久知奈波 蛇 をさぎ 長耳小獣 万 宇乎佐藝 和 宇佐支 兎 をこ

魚ミ 已自 和 同 字乎 鱶魚 をざー 和 乎佐之注以竹貫魚也 鮫 をけら 草ミ 介良 和 同 字乎 木

をばふ 蕩蕩ミ 万 乎波 奈 古今物名 同 尾花 又男花 をがむ 推古紀 烏号餓弥呂ぶミをがみて拝ミ 拝 をか

次 万 侵を乎の假字ニ用 犯 又侵 をさむ 万 乎佐 和 竟宴哥 同 治 又修 をしへをふ 拝 をか

和鵠鴿を乃豆支乎之間土里 竟宴哥妻忘難 續紀 今本宣命ニ教江ヒ比るハ後人字誤ミ 教 をかー 宇阿奈乎加之 可咲 をー

みをーむをけく 紀 嗚思揩宋 万 怨之義 愛 惜ハ愁之 をつゝ 万 乎都々 同 現 をはりさへ 万 乎波里又乎倍

仏足石哥 乎閇牟 終ミ をはり 國ミ 和 乎波里 尾張 をさだ 駿河ニ和 乎佐多 他田

をもふ 古ニ正嫡ニ和ヒ乎無奈米 妾 をさゝー 万 長無ミ長ハ二言ニ出 稚 をぎ

をもて 屈伸する虫ニ常ハ足取虫ニ和乎岐無之 蚕蠖 をつら 木ミ 和 乎加豆良 楓 をーかは

柔皮ミ 和 乎之加波 韋 をさく 長ミ 万 乎佐左毛 專 をゝけび をたけび 紀 烏多祁備盧 雄

詰 をのりく 懼ミ 宇乎乃々久 又和奈々久 惜 をぶけま 武蔵郡 和 乎夫須万 男衾 をやー

ー 上の例 前年 をりはへ 時合なん 前日 をちこち 万 乎登ツ 遠ミ在二言ニ 彼此

四言

五言 至九言

をみなへし 女郎花 草之 万平 葵奈敝 之 古今物名 和同 娘部志

をかべき 草之 和平 加土介岐 苅萱

をかつど 木之 和平加豆介 之又仁豆介之 茵

をさくり 草之 和平 乃平乃之 赤

竿

をさをばしら 字橋梁之左右 之柱之平乃古柱 幢柄

をさむるつかさ 官名之 和平佐米 豆久留都加佐 修

をさめつくるつかさ 官名之 和平佐 牟留都加佐 治部者

理職

○加部

一言

か 加。賀。架。嘉。迦。伽。可。河。何。荷。珂。柯。軻。訶。歌。甘。間。箇。介。

清音

賀 浩滝二音

我。俄。蛾。峨。餓。鵝。雅 濁音

二言

かほ 人の面之 万可保 和顔面 を加保波世又保々豆岐 顔 字万安 比目間之

かい 虫之 字加伊 蚓

かい 舟の目之 万加伊 和同 櫂

かひ 食器之 和加比 匙

かひ 海つ物之 古加比 万和同 貝

かひ 禽之 字加比 蛺

かひ 山の間之 古加比 万同 峡

かひ 鳥獣をかふ事 古加比 紀万同 飼 養

かひ 稿の穂之 越加比 穎

かひ 物をあを 図和加比 甲斐

かひがひしい 字加比 万加比 志伊 甲斐甲斐敷

易ニ新万加比の辞ヲ借用字加布 **買**

かは 古加波 紀五月

川 又河

かへ 木和加阿

柘 **のへ** 木の子ニ和加倍 **椎子**

かは 新五加波の辞ヲ借用和加波 **皮**

訓加太志太志の約ニ作ヲ伊毛治ヤスシ均ー和鍛冶俗ニ呼テ鍛冶訛也ヤモハカ〳〵文字ヲ以テノミ以國ニ云加治ノ治ハ波字ヨリ〳〵ニ

かぢ 木綿の木ニ字和加治 **穀**

のぢ 舟具五可治字和月 **檝**

かぢ 金作ニ古

鍛人 **かぢ** 五加受 **數**

かひ 貝ニ和加比 **蚌**

かめ 和加比 **龜**

かは 不具の人ニ片羽の意 **殘廢篤疾**

うたね 和加多禹ヌ保加比比刀 **乞兒**

かう

べ 和加辛倍 **首**

うはち 頬ニ字和加波知 **酺** 又顙車

かはべ 字加波弁和月 **肌**

うひ

ふ 古加比那閇月 **肱** ヌ肘

うへる 和加阿流詮鷹鵰二年色 **鴉**

かへる 卵仏ニ和加唐流 **孵**

うへる 古可散流 **歸**

かひこ 蚕の子ニ和加比古 **卵**

うひこかぶこ 蛄蚕ニ五養蚕ノ和加比古ヌ古加比須ツカヒコ

かへる 和加阿流詮鷹鵰二年色 **蛙** 又蝦蟇

うつを 魚ニ字加豆乎和月 **堅魚**

かれひ 乾飯ニ五可例比和月又加礼以比 **餉**

かれい 木ニ字加之比 **椹**

うへで 木ニ五加散流互字加及天和月 **かへで**

かしは 木和加之波 **柏**

かしは 吉本催馬樂月 **槲**

かれひ 魚ニ和加礼比ヌ加良衣比 **王餘魚**

かはづ 五加比 **蛙** **うひ**

雞頭樹

うに 五栃皮古今物名かはばく ら和加波又加仁波今攤皮ノ **樺**

かづら 古可豆良五和月也俗用髪飾ニ非也 又蘿髪ニ比加介加都良 **髪度**

うに 五和月和注髪少者所以被助其髪ノ **髪度**

かづら 蔓草ニ古迦豆良紀字月

うらえ 草ニ和ヌ加良可之波 **革森**

かはら 訓川菜古今物名かはらく さ和加波奈 **水苔**

うもれ 木ニ字加之比 **榛**

かはら 五可里保 **假廬**

うはら 安和加波良 **尾**

かはや 和加波夜 **廁**

うも

かはら 加波良 **河原**

かはへ

黄草

うはら 草ニ和ヌ加良可之波 **革森**

かはら 安和加波良 **尾**

かはや 和加波夜 **廁**

うも

かはら 加波良 **河原**

かはへ

え 屋具ニ加毛衣 **鴨脚**

く 水中を行く西迦豆岐紀万同 **潜**

ひかがふ 万可奈不 **叶** 奈比宇加 竟宴奇同

かふち 園又ハ辺和加不知 **河内**

かはる 香ニ同五香乎加 流宇加乎留 **薫** 布 宇板

かよひ 五可欲布古 李神樂奇同 **通**

かわく 宇可 和久乾 又燥

かはほり 五可倍古本催馬樂 竟宴奇奇波留 **蝙蝠** 又更交

のぞかへ 万可 藤倍 **數**

のたへ 方ヘ **傍**

かのえ 十幹の一金兄ニ **庚**

のづ

を 淡路ノ上和加之乎 **賀集**

かふ 筑前ノ上和加奈布 **金生**

のはひ 越前ノ上和加波比 **川合**

かはし 肥後郡ノ和加波志 **合志**

のーひ 筑前ノ上宇詞志比細同 **香**

かき入 飛騨ノ上和加支倍 **高家**

かー

河曲 **うまふ** 近江郡ノ和加万不 **浦生**

推

かふ 和加奈布 **甲賀**

のはひ 伊勢郡ノ和加波和

うをる 香ニ同五香乎 流宇加乎留 **薫** 布 宇板

かわく 宇可 和久乾 又燥

のぶ

のふ 五可 竟宴奇奇波留 **替** 又更交

かはる

かよひ 五可欲布古 李神樂奇同 **通**

のぶ

かのえ 十幹の一金兄ニ **庚**

のたへ 方ヘ **傍**

かふの 近江郡ノ紀 鹿深 **甲賀**

のはひ 伊勢郡ノ和加波和

かふち 園又ハ辺和加不知 **河内**

ひかがふ 万可奈不 **叶**

のぞかへ 万可 藤倍 **數**

く 水中を行く西迦豆岐紀万同 **潜**

かはる 香ニ同五香乎 流宇加乎留 **薫** 布 宇板

うをる

かよひ 五可欲布古 李神樂奇同 **通**

かわく 宇可 和久乾 又燥

のぶ

かはる 五可倍古本催馬樂 竟宴奇奇波留 **替** 又更交

のづ

かはほり 五可倍古本催馬樂 竟宴奇奇波留 **蝙蝠** 又更交

のぞかへ 万可 藤倍 **數**

のたへ 方ヘ **傍**

かのえ 十幹の一金兄ニ **庚**

のはひ 伊勢郡ノ和加波和

かふち 園又ハ辺和加不知 **河内**

ひかがふ 万可奈不 **叶**

かふの 近江郡ノ紀 鹿深 **甲賀**

かき入 飛騨ノ上和加支倍 **高家**

かー

河曲 **うまふ** 近江郡ノ和加万不 **浦生**

かふ 和加奈布 **甲賀**

かはし 肥後郡ノ和加波志 **合志**

のーひ 筑前ノ上宇詞志比細同 **香**

のはひ 越前ノ上和加波比 **川合**

推

を 淡路ノ上和加之乎 **賀集**

かふ 筑前ノ上和加奈布 **金生**

かみなつ 雷の落ル和加美 於豆ル加美乃介 **霹靂**

いの祢 宿の下ニ和加伊加祢 **卵**

かはむー 虫ニ和加波無之 **烏毛虫**

のぢやり 和加地刀利 **攫師**

か

り 雲類宇和加波保利 **蝙蝠**

かぎろひ 虫ニゲろあゃも五玉 蜻蛉ぬなの字名借

のまづか 小魚ニ和加未豆加 **鮒**

かぎろひ 西加蜻ニ通肥後ホかげろふ

のはたけ 常ヨ皮ヲ竹ニ和

のひろぐ 和加比路久 注船不安也 **舫**

かうぶり うむり 和加宇布利 **冠**

のいらけ 尾ノ部ニ **土器**

かはほ祢 水草ニ和加波保祢 **骨蓬**

かやぶき 加波多計 **苫** 河竹ハ借字

ひ 門戸見ニ宇録を加須加比和鍵を阿介賀須加比

かせづを 杖ニ和加勢都惠 **鹿杖** 又横首杖

のいらけ 尾ノ部ニ **土器**

かはほ祢 水草ニ和加波保祢 **骨蓬**

のひろぐ 和加比路久 注船不安也 **舫**

かうぶり うむり 和加宇布利 **冠**

のいらけ 尾ノ部ニ **土器**

かせづを 杖ニ和加勢都惠 **鹿杖** 又横首杖

のらぶを

かぎろひ 虫ニゲろあゃも五玉 蜻蛉ぬなの字名借

のまづか 小魚ニ和加未豆加 **鮒**

かぎろひ 西加蜻ニ通肥後ホかげろふ

のはたけ 常ヨ皮ヲ竹ニ和

かぎろひ 又火影ニ又朝ケの日気又指糸 **炎**

かやぶき 加波多計 **苫** 河竹ハ借字

ひ 門戸見ニ宇録を加須加比和鍵を阿介賀須加比

かせづを 杖ニ和加勢都惠 **鹿杖** 又横首杖

のらぶを

打載男和 加良佐乎 連枷
かぐはし
香濃之 紀 伽愚破志 万 同 常云かうばし 馨
うくさふ
万 可苦佐
布 佐布の約須 おてかくれあり 隠
かたらひ かたらふ
万 語可 多良比 相語
かたはら
和 腸肋を加太 波良保祢と訓 傍
かがなへ かうがへ
古 迦賀那 倍 紀 同 考
かなしび
万 可奈 之備 悲
かならず
ハハ 假令あらん ばハ 不在く 必
かづらき
大和郡 古 迦豆 良紀 紀 万 同 葛
城
かいがや
上野の和 加以加也 挂萱
かさをり
讃岐の和 加佐乎利 笠居

五言 至八言

かはのかみ
川の神之 和 加波乃加美 河伯
かはびらこ
飛虫 字 加 波比良古 蝶 又蛺
かたつぶり
虫之 和 加太豆不利 字 同 蝸牛 又蝓
かつをむし
和 加豆乎無之 又 未久奈支注

小虫乱飛也 蟣蠓
かはらふぢ
葛類 和 加 波良布知 皂莢
かはやなぎ
木之 和 加 波夜奈支 字 檉 同 水楊
かはねぐさ
草之 和 加 波祢久佐 女青
かたをるみ
万 酒 無之
○ 片男浪之也 おまふハ誤
かなづなゐ
和 鐵索井也 加奈豆奈為 桔槔
かはごろも
皮衣之 和 加波古路毛 又 加波岐奴 裘
かぶらゑり
和 西刀 鏖之 加布良恵利 鈐
かくのあわ
餅類之 和 形如結緒 加久乃阿和 結果
かへりうつ
和 雑藝之 加 倍利宇都 擲倒
かへりみ
る
万 可敝 里見 顧
かみづふさ
國之 和 加 美豆不佐 上總
かつをい
ろり
和 塩梅類之 加 豆乎以呂利 堅魚煎汁 今 鰹
かたじけなし
古 可多自 氣奈志 忝 又 辱
かへりまをし まう
かへりハ三言か まをしハ未部に在 賽
かはちさのき
木之 和 加波 知佐乃支 賣

子木

かいらよもぎ
草和加波良与毛岐 菊

いらよ

もぎ
草和加波良与毛岐 白蒿

ゐあふぎ
草和加良須安布支 射干

かはぐまつづら
木豆良又久曽末由義 衛矛

ひ
和加太加之以比 注半熟飯也 餲餬

このはいぢかみ
木和加波波之加美 呉茱萸

から

かみそこーえ
草和加美於古奈之加万太須 苦芙

のみかーきのい

○幾部

一言

き
幾攴伎岐吉記紀机企奇寄綺騎既棄巾鬼祈祇機基忌耆嵜清音

藝疑擬宜義儀犧濁音

二言

きど
烏之也支義志 和支公須又支之 雉

きぢ
万伎波 和髪際を加美岐波と訓 際

きえ
万幾延

きぬ
万伎奴 和衣を加美岐奴と訓 衣

きは
万伎波 和髪際を加美岐波と訓 際

きび
万幾愛 疵又瑕

三言

きはだ 木之〔字〕又波太〔和〕曰 黄蘗

きづな 〔和〕両訓在〔紀〕〔催馬〕阿之 手在犬岐豆奈 縴 綠

きゐひ

乾肉之〔字〕〔和〕支太比 腊

きたひ きたふ きたへる

鉄をきたふ 〔字〕支太不 釙

きほひ きほふ きほへる

〔万〕伎保比 競 きそひ きそふ 曰

きはみ きはむ

〔万〕伎波美 極 又究

きこえ きこゆ

〔古〕岐許延 〔紀〕〔万〕曰 所聞

きらひ

きらふ きらへる

〔紀〕岐羅比 〔詔〕〔字〕曰 嫌 又棄

きのふ

〔万〕伎乃敷 昨日

きのえ

十干の一 木の兄之 甲

四言五言八言

きゐむば

〔和〕支恵無波 注 蜻蛉小而黄也 胡黎

きりくひ

伐抗之〔字〕支利久比 杙

きぬた

常云きぬた 〔和〕岐奴以太 砧

きよまはり

浄くまはりハ 辞〔祝〕浄麻波利

きのうつほのみづ

木の空の水之〔和〕木乃字豆保乃美豆 又竹籬頭水 半天河

○久部

一言

く

久。玖。九。鳩。句。絇。君。苦。空。宮。矩。倶。區。衢。孔。丘 清音

具。愚。寓。隅。遇。求。郡。虞。供。娯 濁音

二言

くは

木之〔紀〕倶破〔万〕〔祝〕曰 桑

くは

農具之〔字〕波〔紀〕〔和〕曰 鍬

くず

葛之〔紀〕矩儒〔万〕〔和〕曰 葛

くづ

〔和〕金屑を古加祢乃久豆 須利久都と訓 屑

くひ

〔古〕久比〔和〕曰 〔万十六〕 鎖かいひおしより 杙 又杭

くひ くふ

〔古〕倶比 〔紀〕曰 咋

くい

くゆ

〔紀〕倶伊〔万〕曰 又久由 古本催馬楽曰 悔

くえ くゆ

〔万〕石崩を伊波久叡 〔紀〕以ス 播區ゞ 郷輸ハ岩くゆを延るなり 山崩

二言

くも　古久毛韋　五雲居　雲

くぢい　鳥之転和久々比　古末催馬楽曰　鴟

くひな　鳥之転和久比那　和日　水

雞

くぐか　鹿類之和久々加　字日又於保自加　麞　又麝章

くぢら　大魚之古久治良　紀和日　鯨　又鯢

くひぜ　字久比是和日　杭　字書木頭　和株也訓字書木之根入土曰根出土上曰株又短住一

くゝ

くさね　水草之和久和為　烏芋　又慈姑

くつわ　馬具和久豆和都良又久都和　繮

くゞり　和玖之利　註解結者

くろひ　牛馬體和久波由岐　烏頭

ゆき　紀手抉多多礒餌雛　字剣也久自利恵留　觜

くまぢ　隠曲路之紀久麻佐波　徑　又捷

くづる　字久豆礼　崩

くはし　其美也加　古久波之紀曰　細　古曰比　倍比

くらふ　字久良不　喰

くらね　和久良波　位

くるひ　五久流比　和曰　狂

くるへる　五久流比　和曰

費也紀眼妙媛也有徴　妙也くりや訓之

三言

くはふくへ　言のもやロバ考る事り　加

くるへ　伊勢朝明郡和久留倍　訓覇

四言

くらうびと　職人之稚作也素良宇度也ヒト如

くちちはひ　虫之和久知奈波　蛇

くろだい

くはへ　筑前ロ之和久波倍　欸釜鬱食

五言七言

くるへき　安藝ロ和久留倍支　訓覚

くれなゐ　深色之異盆万久礼奈為和久礼乃阿為　紅

くるへき　蟻系見和久流閇枳　反轉

くまのい　熊膽之以部加乃介　人

くまのい　薬草之字久万乃伊又加乃介久佐和日　人

魚之和久呂太比　尨魚

参

くさぬまき 歌ニ和久 佗為奈岐 野猪

くれのたゞ 雑類ニ和久 於毛 集解云母 興、渠

くそうづら 萱草ニ和久 曽加豆良 細子草

草

くさもちい 芋草餅ニ和久 佗毛知比 餻

くつべる 室久 豆加倍留 巌

蔓

くつくぼうー 虫ニ和久 久豆保宇之 蛁蟟

次

和復撒撥 運今簡須 就 遂 散

くりのいが 栗子皮ニ和久利乃以加 栗刺

くまつゞら 萱草ニ和久未豆々良 馬鞭草

くさのかせ 和久佗阿波世 五月五日闘百草之戯 鬮

くだのふえ 征戦具之和久太能布衣 小角

くれのはゞかみ 室久礼乃波自加弥 和日又阿奈波之加美 アナ

くるはらゝか

○計部

一言

け

計ケ 氣家 化祁 奚 雞 谿 迦 價 稀 啓 開 階 戒 談 潔 清音

既 慨 清濁二音

夏 解 下 牙 景 偈 宜 擬 礙 覬 剴 愷 皚 豈 渭名

二言三言四言

けふ 古祁布 天月 今日

けづる 五気頭 洗室日 削

けぶり 煙 烟日 けむり 火気之 室ノ 夫利 和日

けし 越前古乃 比国ノ 罌粟

けづる 髪をけづる事 和ノ 都遍室加之良ノ豆流 梳

けだもの 獣 和ノ 介太毛乃

けぶたー けむたし 火煙之 和ノ 介布太之 燻

けハ 気之 はひハ 辞

ひ

けハ気之 はひハ辞

けぶた けむたし 煙之 和ノ 介布太之 燻

○巳部

一言

こ 巳許古胡枯姑祜故居固孤庫巨渠去莒舉虚據興

高顧 清音

呉誤娯五吾悟語後凝其棊 期虞御馭 濁音

二言

こひ 魚之〔字〕〔和〕比日 鯉

こひ 足病之〔和〕古比 瘇

こひ こふ こへる 人を慕之〔紀〕古比〔万〕日〔古〕 戀

こひ こふ こへる 祈を求之

〔紀〕乞比 乞

こゑ 〔万〕許恵〔字〕日 聲

こえ こゆ 〔紀〕古曳〔万〕日 又古由 越

こえ こゆ 身肉多之〔字〕古衣太利 コエタリ 肥

温菘

三言

ことひ 大牛ヽ〔万〕事負 コトヒ 乃牝〔和〕古度比 特牛

こずゑ 木末〔和〕古須恵 梢

こほね 菜類之〔和〕古保祢

こほり 〔万〕許保里〔和〕日 氷

こほり 古本催馬楽巳保利〔拾遺集物名〕日 郡

ことぢ 〔和〕古刀知 筝柱

こはし 〔字〕巳波志〔和〕強 飯を古八伊比 強 又侄

こよひ 〔紀〕虚豫比〔万〕日 今夜

四言

こじうと こぢうと 〔和〕兄公 又 女公 又 叔 姨夫 兄 姊夫 之古之宇刀 又 女妹 妹之古之宇刀米

こまうど 古本催馬楽 古末宇土 高麗人

〔万〕蟋蟀之唱 中りハ 古保呂義 中よむべし 蟋を赤土ゥり〔和〕以下 蟋蟀をきりぎりすとよむハ誤

こほろぎ 虫之〔和〕古保呂支 蜻蛚 又蟋蟀

ことのを 〔和〕古刀乃乎 絃

こ

こはいひ 〔和〕古八伊比 強飯

ことわり 〔万〕許等和利 理 又義

ころほひ 比之 ほひ

五言六言七言

こいろ 伊勢ノ古ヲ古以之呂 漕代

こゝろばへ 意ハ古ヲ下ニゴヲ略ノ類ニ

こむ

こゝづくり 宇已和豆久利 又志波不支ハフヤ 欸

こゝろばへ

こむ

らがへり 足病和古無良加倍利又加良須奈倍利カラスナヘリ 轉筋

このてがは 木ノ古乃手ハ古ヲ加之波 児手

拍

○尤部

一言

さ 尤佐差、瑳、磋、沙、娑、砂、紗、散、射、作、社、者、草、舎、積、紫、霜 清音 謝、坐、座、藏、邪、奘、裝、奢 濁音

二言

さは 古尤波 紀ハ五ヒ 多

さを 舟ノ異古佐 表紀和ヒ 檣又竿

さ

三言

さへ 実さへなさをぜのさへなり五尤倍 副又並兼

えさゆ 衰五尤敝 冴

さは 和尤ハ 澤

さゞえ 貝ニ和 佐左衣 栄螺子

さゝく 万佐和 久宇ヨ 騒

さゝひ 農具ニ和 佐良比 櫂

さゝぢ 魚ニ宇 佐比治 鮒

さゝげ 万佐 豆気 授

さゝえ 盃類ニ和 佐須衣注

さゝほり 万佐 波利 障

さゝり 和佐 波利 月

さゝかに 紀万ヨ又紀佐伽麻曳五ヨ さかふセ書ハ誤 栄

さゝひ 紀万ヨ 境部セ坂合部通ハー用

さゝかえ さゝばえ 百佐 迦延

さゝのひ さゝふ 比セ不セ

さゝほ

さゝま 下総郡ニ和佐宇方 相馬

さゝは 筑前郡ニ和佐波良 早良

さゝうま

さゝはた 薩河ロニ和佐波比 澤食

さゝた 佐渡郡ニ和佐波太 雑太

さゝき 通 逆

さゝそひ さゝふ さゝそへる 曽不宇佐

さゝへき 氏又宍粟郡和佐倍支 佐伯

さゝほ

さをしか 紀尤鳴子 加万和ヨ 牡鹿

さゝはやけ 菜類ニ和 佐波衣介 黄菜

さゝかづき 酒器ニ和 佐加都支 盃 又坏 盞

さゝひづる さへづる 鳥の鳴ニ万佐比豆流宇尤又豆留和ヨ 囀

さゝひづち 工匠具和 散伊都遣 斧楔

さゝひづま 鍛冶屋ニ和 佐比都恵

さゝいだ

さゝてん 和佐以多天 戯射

さゝいづち

さゝきはへ さゝきふ ちばひ 語福波 播布又千羽ヒ さゝはひハ俳言ニ 幸 又福

さゝもらふ さゝふらひ さむらふ 万佐母良比 語候布 侍 又伺候

さゝらひ さすらふ さすらへ 頌佐須良比宇 佐須良又阿加久 徨 又優セ

さゝまよひ さまよふ 万佐麻欲比宇ヨ 呻吟

さゝがに さゝがばー 宇佐和加 波志万佐 蜘蛛

さゝい

和久ヨ 騒

さゝへぎる 障切ニ 遮

さゝいだま 武蔵郡和佐伊太末 埼玉

さゝいべ 上野ニ和佐介伊倍 雀部

ぐさ 氏又加賀郡和佐以久佐 三枝

さへのかみ 道神 和佐倍乃加美 道祖

さへのかみ

さるのづらよづ 喉類 古佐那葛 万空 円又万狭根葛 和円 五味

さるのづらよづ

さるとがせ 谷類 和

さるとがせ

さいれい 和佐々礼以之 細石

さいれい

さやづきぜ

さばへ ふ次 蠅也 冠辞 和五月 蠅也 左魔陪 如五月蠅

さばへ ふ次

さはあらいぎ 草 和佐波阿良々 岐又阿加末久佐 澤蘭

さはあらいぎ

さ

さらえやぶこ 月 万 左佐良援壮子 援ハ 延部ニ在 壮ハ喪部ニ在

さらえやぶこ

り 鳥 和佐夜 豆支土里 蠋蠃

り

さ

○志部

一言

志 志士。仕。之。芝。師。四。斯。死。旨。指。始。信。進。新。式。試。此。紫。次。叱。司。伺。詞。嗣。侍。詩。思。偲。施。墾。尸。子。矢。笑。資。茲。緇 清音

時事。辭 清濁二音

自。慈。兒。寺。盡。茸。珥。餌 濁音

二言

羊蹄 二字一言 紀 万 志

し 本ノ百志 比紀 百円 椎

し

ひ 百 斯和 和円字 酢 ヲ於毛反 志和 咩 皴 又皺

ひ

ふ 海水ノ万 思保 字志保 助豆 潮 又汐

ふ

ふ 蔓 潮傍ノ 百 志本紀円 鹽

ふ

ち 車具ノ 和之知 楫

ち

つ 古ノ文布ノ紀之 都波 梅 又之頭於利 又斯 シツハタ 図利

つ

倭文
しづ
下つ子の暑団須兒の須ハ志豆の約古今集上の倭文か賤女東うた 賤

三言

志なを 前夫之和之太乎又毛切乃伊乃古
しびみ 小貝 堅之 自弥和名 蜆
しづえ 下枝 古志豆延紀同
志うわし 夫の父之和之字乃 舅
志をる 草木の凋ム 万之乎 礼弖新万 芝折忍礼者
志ろを 魚之和之呂乎 鮑

茎
しみづ 清水 すみ水ニす表の約志ミ 和之比 祢 累証皮肉臃起不養不痛又堅強者也 瘤
志こづ 談之堅志已豆 諮
しまへ 堅志理幣万同 後
志ほで 馬具之和之保天 鞭
志ひ

志ひる 万志婆詞之非天 強
志たひしまふ 古斯多布万之多比 慕
しぐむ

しづか 万之須気師訓志都宮ホ志静 静
志づく

志ぐまる 字志自万葡 縮 又蹙

九八

四言

志ほひ 年極の累敷之核ヲ師走ト書て義ヲ云ハ倶 十二月
しざほ 播磨郡和志佐波 宍粟
志ほひしまふ 見寒哥之奈又 所乖
志ほさわ 潮騒之万潮佐為
しきろへ 空しおのおふ冠しむ万之

志ふせ 和之比奈世註右皮而無栄也 枇
志ふき 字志波不支和同 欸嗽
志ほさぬ
しろたへ 和之ム和岐註肌膚之肉也 膝
志たがひしまふ 古斯満多利弖万同 白布 又白撲又白木綿又白細布又白妙 妙ハ借字
しひたぶせ
しひふき
志ひきる

倭多倍 敷拷
順比 順ニ隨

五言六言十三言

もづふさ 和唱 國之和之毛豆不佐 下總

しりくめ 奈和之利久倍奈波 端出之繩 又注連

よりくちよ 里こくやまひ 病之和之利与利久智与利古久夜万比 霍亂

ちゝびゝほ 肉榻酉之孚南比之保和之个比之保 醢

ちり

九九

○須部

一言

次 須 春周。主。取。素。數。州。秀。珠。輸。酒。蔕 清音

聚 濁音

受 授。儒。孺。

二言

次 ひち 空和 須知 筋

次 ひゐ 次ふ 次へる 不 空須 吸

次 ひゑ 和須惠註假髮髻 假髮

次 ひと 信濃郡之和須波 諏方

次 ひな 居

次 ひま 方向 末

次 ひむ 上總郡之和季 周淮

次 ひゑ 次ふ 次へる

次 ひゑ 古須惠翻

次 ひゑ 古須受 紐同 鈴 又釋

次 ひゑ 五須惠 古本借馬條同○次冲也書誤

三言

次ぐ矢 小鳥之固須受末和同 雀

次くふ 和須久不巣

次ぎ 鳥古須受峙万同雲凡土記同 鱸

次まひ 次まふ 和須末比 相撲

次まひ 次まふ 語須末比 万和同 任

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 質直又儉素

次ぎ 仏足石哥須久比三代実録同 救

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 固須久不和 須久比乃流 漉

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 固伊須久岐國同 伊ハ発語そぐろ曰 不覺又虫 粛

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 固須受 同 涼

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 字須奈保

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 仕ハす事ひ漢ま位者もろ訳

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 國ノ和 須波宇 周防

次ぎ 次ぐ 次ぐふ 次ぐへる 和須加不 菅生

四言

次さのを 神号之固須佐之男紀素戔嗚

次ぎもの 毛詩之和須恵宇都波毛乃又須恵毛乃字窓を須恵加万 陶

次ぎ

次ぎのえ 津國ふりえハ吉の古訓 住吉

次ひづら 次ひづら 草之字須良和須比可豆良 葛

次ぎもの 万須恵都比尓 末遂

次ぎもの 職名之和須奈伊毛乃万宇之 少納言

旋復花

次をつひ小

次ぎもの 万須恵都比尓 末遂

次ぎもの 草之字須万比久佐 菊

次ぎもの 工匠具和須義奈波 繩墨

五言八言

次ぎもの 次ぎもの 和須恵宇都波毛乃又須恵毛乃字窓を須恵加万 陶

○世部

一言

せ

世。勢。齊。劑。制。西。栖。細 清音

是。笶。噬 濁音

三言

せうと

古へ兄を世といひ又衣やを云ぜうとやへ兄人く

兄

○曾部

一言

そ

曾。層。僧。贈。籍。所。沂。祚。且。祖。則。宗。諸。鐏 清音

俗。賊。茹。序。存 濁音

鋤。叙。增。憎。

二言

そは

側の

岨

そひろふ

古籍比紀曰万籍倍利曾布

添 又傍

そね

大隅郡之和曾於

嚊 吟

三言

そほき

和牛馬體曾保岐又曾布岐

歷草

そのふ

万曾能不和曰又曾乃古本催馬樂薪曾乃不

園 又苑面

そほ

赤どゑ紀緒をそほにて訓万曾朋舟ソホ

緒

そ
吉 那布 備

そかは
讃岐ノミ 和 曽加波 蕪甲

四言

そこひ そこふ そこなる
宇 傷ク殘ク 曽已奈波由 弊

そほつ
山田ノ多ク獣ノおせろかノまだらなる
古 山田曽喜騰ノ如キ斑ノ獣ノ類ナリ

そこひ
五 曽 古比 涯

そびえ そびゆ
えゆ 通 聳

五言

そへぐるま
和 後乗ニ曽用ユ久流 万ヌ此ノ如ク太万此 副車

そふのかみ そふのしも
大和郡ニ

和 添上ヲ曽不乃加美 添下ヲ曽不乃之毛

○多部

一言

多
多、哆、丹、他、柁、稻、當、黨、儻、襃 清音

太、陀、駄 清濁二音

娜 濁音

二言

たづ
鳥ノ 吉 多 豆 万 和 川 鶴

たひ
魚ノ 宇 太、比 和 迺 又國 古本催馬樂ニ 鯛 平魚

たへ
織物ノ古名 和 五 綱 打 古 多倍

三言

たへよる
万 安倍 女川 堪 又任モ 敢モ 通用

たえより
万 多延、又多由 竟宴ノ 古本催馬樂ニ曰 絶

たへ
織物ノ古名 和 五 綱 打

たゝ矢
和 今呼老女ノ爲ト太宇矛ト 專

たふる
宇 太 不当 倒 和 獣ノ死ヌル歟ヤ 斃ヤ 又ハ仆ノ字ヲモ訓ム

たゞい

又わやともいう

舩尾之[和]多伊之これハ平言也 古言足不得 舵

たづき [和]多都岐 注廣及斧之[古][万]山多豆乃同 鐇

たづき 手著之便の[万]鶴寸又多頭吉これつを濁る說ニ音任

たらひ 手洗之[和]多良比 盥

たをり 山のたをりとある[万]手折の字を借てあり

たをを とをを 草木をゝみーておゝ之[万]多手理

手折

たわみ たわむ たわく [万]多和義又多和[字]多和年 撓

たひら [紀]陀毘邏[万][字]同 平

たまひ [和]倍土都久又太万比 歐吐

たまひ たまふ たまへ たまる [古]多末比[万][語]同 賜 又給

たうべ

古本催馬樂哥 介乎太宇倍天 給

たがひ たがふ たがへる [古]多賀比 違

たとへ たとふ たとひ 比不倍通 譬

喻 假令をたとひとよむもをや同じ

たづぬ [万]多豆祢 仏足石哥同 尋

たぐひ たぐふ たぐへ

[紀]多虞毘又多具倍[万]仏足石哥多具覇利 比 又類 屬

たふげ たむけ 山の頂を云之 もとは手祭之

たかは 國之[和]太

途波 丹波

たぢま 國之[古]多遲摩[和]同 但馬

たぢひ 河内郡又氏[古]多治比[續紀][和]同 丹比

又信るまよみふのこゝやうのい越米を云

たげふ たかふ 武藏國之[和]多介布 但馬國之[和]多加布 高生

たきへ たのへ たけへ 信濃國之[和]太伎倍 佐渡國之[和]多介倍

又多加倍 高家

たいま たぎま 大和國之[古]當岐麻[和]多以末 當麻

四言

たをやめ 手弱女[和]太乎夜米 婦人

たづのひ [紀]陀豆歌毗 田令

たまし

たい [万]多麻之比 魂

たなすゑ 手末之[紀]多那須衛[和]同 手端 又手子

たのごひ 手拭之[和]

太乃古比 たのごひとも 手巾

たふさぎ [字]褌 太不佐支[和]袴而無跨謂之褌 須万之毛 能又知比佐岐毛乃又松毛乃之太乃太不佐岐 犢鼻褌

[紀]兼炬 [万]手火 之光これよれバ手火松り

たづのき 木之[和]太豆乃木 女貞

たかはら たかむら [和]太加無良又太加波良 竹藪之 篁

たまづし 草之[字]玉豆志 [和]豆之太万 ツシダマ 薏苡

たいまつ 燒松之 續松也同 松明

たが

へに 字 犂之 加信須 耕

たがへし 和 多加閉之 以犂一人之 証 相扠

たゝかひ たゝかふ たゝかへる

古 多々加 閉婆紀 円 戰

たふとし 古 多布斗 久 紀 万 貴

たゞよひ たゞよふ たゞよへる 古 多陀 用弊流 漂

たまづさ 文をいふ 万 多麻 豆左 又玉梓

たいし 字 偉を太 太波志 偉 和

たゆたひ

たゆたふ たゆたへ 万 絶多比 多由多布 猶豫不定

たくはひ たくはふ たくはへ 万 多久 波比 貯

たは

ぶれ たはむれ たはれ 字 太波夫流 又太波面 戯

たはしれ 字 太波 志礼 作劇

たはこと

万 多婆許 登 詔 室 円 譫言

たづさひ たづさふ たづさへ たづさはり 万 多豆 佐波理 携

たけなは たけは高 なはは

辞 闌 又 酣

五言六言九言

たけのかは 竹の皮之 和 竹乃加波 箨

たまきはる 射辞之 古 多麻 岐波流 紀 万 円

たまの

おや 和 河内ノ人 多末乃於也 玉祖

たもとほる たもとほりかる 万 大毛刀保里 多知毛刀保留 徘徊

た

かむなのうはのハ 筍の皮之 和 筍 多加牟 乃宇波加波 籜

○知部

一言

ち 知。智。池。遲。馳。陳。稚。致。耻。掇。笞 清音 治。地。尼。旎。泥。涅。貳。

膩 濁音

三言

ちたも 和知 於毛 乳母

ちはや 衣服之和 知波夜 褌

ちかひちろふ 字知 加布 哲言

四言

ちりひぢ 字知利 比治 塵土

ちひさー 古本催馬樂奇 知比佐古カ 祢利 和 郡之又物の名ヨ在 小 少曰

ちかづく 五知可 豆久 近

五言六言七言

ちはやぶる 冠辭ノ 古知波 夜夫流 万日

ちひさきもの 和知比佐伎毛 乃住傍無準ノ 褌

ぎりかうふ里 和知岐利加宇不 利註婦人喪冠ノ 巾國

○都部

一言

つ
都。通。追。兎。菟。鬪。屠。清音

二言

つは
出雲風土記 都波 草之 石落

つは
字与太利又 豆波志留 唾

つた
万豆恵 字和同 杖又丈

三言

つはり
字孕始兆之 豆波利乃 登支和揮食 豆波利 膳

つむじ
和牛馬體之 都無之 廻毛又旋毛

つかひ
古都加比 紀同 使

つかへ
紀都 抱隠

つゝじ
木之字槃之 豆久自和 羊躑躅乎似波豆久之 躑

躅

つくゑ
古都度 比加同 机 案

つゝみ
樂書之古都 豆美紀和同 皷

つゝき
紀八十連属也 啄木鳥之 都豆岐 續

つゝじ
古都毘 迩同 遂

つゝ
古都度 比加同 集

つゞる之上の綴より出 つゞりさんも同 綴

つゞき
紀同 豆多比 傳

つゞけ
字續連之 礼乃約両 支ト叫通 次

つゞら
豊前郡之 和豆伊岐 筑城

つゞひつゞる
繼合 番

つゞみ
和都以波無 詰鳥 要食 啄

つゞら
岐又豆 以比知 築墻

四言

つはもの
和都波毛乃 兵

つまづく
字豆万 豆久 蹉又跲然

つまいり
牛病之和 豆万以利 蹄蹈

つゐたち
月立之 朔

つちのえ
土之兄之 戊

つゐがきつゐぢ
和都以加

つゐはむ

つか

ぱけ 和遺波訶四五 都加播佐礼 遣

つくろふ つくろへる 紀豆矩羅弁和叙 烏理也波都久呂比毛也 繕

五言六七八言

つまりつづまや。 数の辞より云 約

つくのひ つくのへる 字豆久乃布 貢

つくろひ

つぬさはふ 冠緯ノ紀菟怒 瑳破赴五四 舳

つくのひびや 工類ノ和豆久乃比今乃 客作兒

つくりかは

つむじかぜ 字豆牟自風 加是和四 旋風

つきど

つづらをり 葛折ノ 九折

つくりめ

ついたて 衝立ノ支也ノ訛道

つぐみ

らひ 和豆支之良比 獣角觜ノ物ノ 觜

つぐらを 和都久利加波 詩獣皮支毛ヲ 革

のいひ祢 草ノ和豆久美乃 伊比祢又保曽之 ホソシ 白英

ついものいつゝさ 官名ノ和都波毛乃 加佐兵部者

○天部

一言

て 天。日。低。底。庭。帝。諦。堤。提。弟 清音 代 題 清濁二音 田。傳。殿。泥。涅。

二言三言五言

てふ 古何々セムヤを言ひでたてゆくちふセも。ゆくヤふセもを。中世より轉シてゝてふセを

てをの 工匠ノ和豆乎乃和四 釿

てらつきてらづき 鳥ノ字寺ニ美和天良豆久岐 啄

てらす 費ノ紀比登比登提 賦ノ宝天良波須 衒

木鳥 ス斷末 方言げらづき

○登部

一言

（当今本皆ま濁）

のぼ 登。刀。斗。等。荅。覩。鄧。騰。謄。藤。得。德。渡。妬。屠。清音 土。杜。圖。

二言

度 清濁二音

杼。奴。弩。怒。特。迺。耐 濁音

三言

問

（紀ま毎ヤあいちいち老世死るまで生きあんバへなまるハちあくほまいへやいヤ古ハ俗）

のど

（老若よく〳〵ど戸生を云〳〵紀親自万和日）

戸母

のぢち

（古本神樂哥刀知意吉哥弓）

閇

（室紛を刀豆誑鹿縫をいふりちんぜも刀豆の去ハ日）

のを 古登表紀弓 十

のひやふへる 古斗比又登布紀五

（譬伎波の伎ハ比ハの約）

のび を 飛魚ノ 字鱓也 刀比乎 和鰭弓

のま ね 和鳥居 神門

のき は 五等伎波 常磐

（万侍宿 宿をハベ 也云爲の假字ま非）

のと ま る 常色字を用 江次第鞠繪

のと を 古登遠 五弓 捩

のと ろ ふ そ ろ 紀等雖倍 和四 人を刀良倍比刀 捕

ほ し 古登富 斯五日 遠

（万刀奈布 字嗜弓）

昌 唱

のら ふ 古登遠 五弓 捩

のる 古登富 乃紀行き を 勝俘屋万等宝利 通

四言

（万登々能倍 字刀々乃不）

のふ へ の ひ 調

（和淮南子云巍人學遠 射ル多ク天而発ツ刀保奈介）

のふ 遠射

（和刀毛都奈 註繩ヲ索シ）

のも つ 纜

（紀等虚辞商 五弓 也こ一云へ之畧）

のこ し へ 長ス鎮

（續紀刀毛奈倍 三代実録共奈比）

のも ち ひ 伴

（紀等虚辞商 五弓 問を延ると也ふ）

のぶ ら ひ ふ 訪

○奈部

一言

奈 奈。南。難。儺。那。娜。乃。

二言

奈へ 木の初て生しく 万奈倍 圓 苗

奈ほ 豊後部直入 和奈保里又奈添ゐ次ふ在 直

奈ふぼ 万奈保 竟宇毎 回 猶

奈わ 紀那爲 地震又地動

奈ば 紀灘播 万和 回 繩

奈ま 和奈豆岐 手之間土里 鵜鳩

奈ぶ 古紀大小魚を奈ぶちろくさ

奈ぶち 万奈保 竟宇毎 回 猶

奈ぶつ おてるよ日 でるの約づ 撫

奈ぶら 草之 古登 許呂豆良 解蔓

奈ぶり 万等騰 巳保里 滞

奈ぼ 國之 万等保 都安布表 遠江

奈ぼつあふみ 遠江つ 和乃保利久方 通熊

奈ぼつへぐり 鳥之 和乃豆岐 手之間土里 鵜鳩

奈ぼろ 万等保 巳保里 滞

奈ぼろくさ 古紀大小魚を奈ぼろくさ

奈ま 万等毛之 備和 回 燈火

奈まつ 仏足石哥 乃巳 乃波 万常登婆

奈まつや 和乃保 豆於夜 高祖父

奈まつら 和乃良倍比乃 詳ならず 軽捷の人へ 囚人

奈まつわ 和乃利 阿波世 鬪雞

奈みこ 前の世こ 一へか曰 長

奈みこと 遠江つ 和乃保利久方 通熊

奈みこへ 前の世こ 一へか曰 長

奈みこへぐり きいをや訓 万河 登保志呂之 やよ処ろい河の大ゐゐり 大

奈みこと 等保多 保奈ゐ方 玉之 和乃保木阿不 義ハ誤

奈みこと 仏足石哥 乃巳 乃波 万常登婆

奈みこと 名持や貴辞こ 古大穴牟遅を 乃大汝の字を借 汝

奈みこと 和奈豆岐註 頭中髄脳こ 脳

五言

いがーろ (組之代ニ) 蔑

ふまえのき 木ノ名 和 泰求衣乃支 前

おかーむふ 京ニおへる名小貝ニハ助

京

ひ 万 泰里波 比和同 業

おほらい 續紀 猶比良 三代実録 直指 直會

ふまびし 万 泰麻強 強、志部

おぼろ 卓 泰須良不 准

おづさしあづさふ 万 泰義能 かづむ古同

おぼざり 万葉ニ直ニ言ヲ有 等閑

ふずらひ (ウヘ字倍由奈豆佐比伎今皇 圖賂ヲ布弥奈豆佐布) 在 憩

四言

ふはせみ 虫ノ名 和 泰波世美註 雌蟬不能鳴者也 蚱蟬

おくぐち 虫 字 泰求 久比 和同 蚰蜒

京

はさば 和 泰波佐波 註大魚名也 鯖魚

ふいーろ 万 泰波之呂 笛代

おりは

ふらひ 讃岐ノ国 和 泰良比 成相

はつ 津國ノ古那尓波 五 和同 難波

おづむ 古 許斯那比 豆年 紀同 炊

ふほり 豊後郡 和 泰保里 直入

京ニ

ふほーを ノ字ヲ唱 **ふぼ** ノ字ヲ唱

ふまぬ 水草ノ名 字 泰 万ニ為 和同 澤瀉

ふまづ 瘡類ノ名 和 泰 万豆波太 歷止

ふまづ 魚ノ名 万豆 和同 鯰

ふまび 字 泰奈豆奈 又支波為 和 蘭

ふまゆ 衣服ノ名 和 須曾豆久利 毛ノ古路 毛又 泰保之能古呂毛 褌衫 又直衣

ふのえ

京

ふへぐ 足病ノ名 和 阿之奈閉久 又那閉久 蹇

はて 和 泰八天 詩田間道 畷

ふづふ 菜類ノ名 字 泰 和同 字又 支波為 蘿

ふまぬ 水草ノ名 万ニ為 和同 澤瀉

ふまづ 瘡類ノ名 和 泰 万豆波太 歷止

○爾部

一言

に 爾。伊。途。二。仁。而。耳。珥。貳。尼。柔

二言

にじ 方上野哥撃 自和余之 虹

にほ 古途波紀 方和同 庭 場

にひ 古余比紀 方和同 新

にふ 大和又越中郡和余不 丹生

にへ 紀珥倍 方和同 苞苴

にえ ふゆ 熟えたり 煮

三言

にはとり 水鳥古途本抒理方同又舌蒸 本抒理紀珥倍廼利字和余保 鶺鴒 鳴

にはか 方海上の静かなるを余波せと平かなるを庭不雨

にはび 庭火之 途波比 和 燎

にほどり 二言 小出 鶺鴒

にはづ 虫之和仁 波豆今 地膚

にひなべ 古余比 那閉

につつ

にほそにむろ

にかは 和余加波詮 煮汁皮俗之 膠

にたふさ 上野郡古余比多和余布 太又陸奥郡和余比太 新田

にほひにふ 方余保比又余保布又余保畝理

にほてり 方余波可字悴同 俄

四言

にほどりの 草之和途波 曽又仁比曽 甘遂

○餘比之轉て後ち声ゐも香ゐもえ

にはかに 荷こかひ 荷擔 かの誤

にぎはひ 飲物之和途於毛 又豆久利義豆 醤水

にぎはふ 常陸郡古途比婆理 和同紀珥比婆利 新治

にふがは 越中郡和途布加波

にほひ 末和仁豆今之 又乎加豆今之 茵芋

にほさき 草之和途 波久佐 地雷

にひなべ 古余比 那閉

につつ

新嘗

賑

五言六言

かはつぐり
鳥之古和名波都久里 雞

にひまぐさ
草之和名仁比万久佐又称阿佐波 鬨菘

かはたづみ
万乃波多豆美和名註雨水之 潦

にはくなぶり
木之和名途波佐久良又波々加 朱櫻

かはくなぶり
小鳥之和名波久奈布里 鶺鴒

○奴部

一言

ぬ
奴。怒。努。弩。農。濃。農濃二字古八奴の仮字之和名鈔の訳よりの仍字ゟ用ゐ八誤

二言

ぬえ ぬえどり
鳥之古和名奴延万奴要子鳥字和名 鵺又鵼

ぬひ ぬふ ぬへる
字奴布和名 縫

三言四言

ぬかづく
頭もて地を突之和名叩頭虫を奴加豆支無之 額突又叩頭

ぬかは
水草之古和名奴那波和名字 蓴

○祢部

一言

祢 禰。年。尼。泥。涅。佞。涅

三言

祢ずみ 小獣之名 和祢須美 古本催馬樂奇弓 鼠

祢ぶるねむる 語類聚流 万祢可比 願 ふて むる 眠

五言七言

祢ぢけひ 撓くけハ辞 ふて加礼ハ約 佞人

祢ぢみもちのき 木之名 和祢須美毛知乃支 梗

祢らひねらふ ねらへる 倭訓栞 伺候之名 万祢良比

祢ぶのひ ねがふ ねがへる

○乃部

一言

の 乃 廼 能

三言

のづち 毒虫之名 乃豆知 蝮

のごひ のごふ のごへる 万乃已不 和手巾也 太乃古比 常よハぬぐふ中ゟ 拭

のろひ のろふ のろへる 祈の誓辞ハ 呪 咀

のどき 和乃支乃加世又ハ夜知ハヤイ 暴

らえ 野荏之名 和乃良衣 蘇

風

のたまひ のたまふ のたまへる 万乃太ゝ方不 宣

のいぢみ 疳類之名 和乃以須美 註脚間ニ生肉ヲ刺シ由ニ筆ニ觸レ小ク捐ル而所生也

肉刺

五言

のむぶえ 和乃無 土布衣 吭

○波部

一言

は 波。破。敷。半。判。絆。伴。巴。播。幡。蟠。薄。八。方 清音

和の如く唱るハまゝ又麻藝憲等をア末の仮字あれども波の濁音るる用

伐 波サ 濁音婆を

二言

はい 詔波ム 万利ワ 母

はえ 草木の生ル 因波要生

はへ 虫ノ 和五月蝿を左魔 陪宇蠅を波へ 和波ワ 蝿

はえ 芽始生ノ 紀波曳入名 黄

はひ 宇和波比 灰 宇久灰

はぢかみ 五波ヲ 耶心

はえ 魚ノ 宇波 延和ワ 鮠 宇鮎

三言

はひふへほ（はいふへる）
伏て行く 丙伊波比、伊八祭詞 又波布 匍匐

はひはへる（はふ）
虫の行く 紀波賦 武志賦 内 和波布 蛟行

はいふ（はひはへる）

はだへ
和波 太倍 膚

はつほ
新稲を神或朝廷に奉る 初穂 祝

はいこ
草之 和波 古 鼠麹 文徳実録 母子草

はいか
木之 和波 今加 又古波伎久良 朱櫻

はいき
草之 字波 今支 芹蒭

はいさ
五波 今伎

はがひ
万 野の羽我比 今よく多く 羽交

はりを
魚之 和波 利乎 又与呂豆 針魚

はいそ
字波 今曽 和内 柞 楯

はいかい
屋具之 和波 閉 岐又太流岐 樓

はひ
和波 閉 筈 始 又初

はふ
古波途布 和内 埴生

はへぎ

はねる
和波為留 歯像 齟齬 歯所

はいた
國之 和波今岐 伯耆

ハド兒
詔波自米 万 竟宴哥内

はらひはへる
紀祓具を 波羅閉都毛能 万 波良比信宇 解奏を 波良久祭 祓

はぐひ
能登郡之 和波久比 羽咋

はいう
讃岐つ之 和波以可 羽床

はいた
讃岐つ之 和波以久 林田

はぐく
宇 胎を 弓波自久 和 膾を以之 波之岐 弾

ほらひはへる（はぐひ）
宇 件を 波良不 和 拂を 波閉 波良波 拂

はいう
上野つ之 和波布利 祝人

はいー
山城、紀伊つ之 和波以之 拝志

はぐく
今云ほくろあり 宇 波今久曽 和日 黒子 国 黶

ほらわた
和波良 和太 腸

ほ

にわり
和波今和利 註一月其儀十五日為男 半月

ほらばしらばふ
万 蛞蝓 布宇日 蛹

ほへぐり
午馬を轢く 宇 波奈豆良 和日 牛蠅

ほへづら
和波倍度里 註此虫似蜘蛛 恒捕蝿為餌者也 蠅

虎

はゝぐり 草之 和波 ム久里 貝母

はまゆふ 草之 万葉木綿 才綿八由部弖在

はまびし 木之 和波 末波非 蔓荊

はまかれ

はゝか 五波豆 可之 恥

はづかし

はぜ 万葉貝 和 波伊須美 掃墨

はいずみ

はしばみ 和波 比末由美 榛

はしばみ

はいばら 遠江郡 和 波伊波良 蕀原

はいいら

はふそのハぶり 山城ノ之 古波布理 曾能 和 波布曾能 祝園

はふそのハぶり

はうぶり 葬ヲ之 古 意富岐美衣斯麻今波夫良波ヤ ろろよろろよ弥も放へはふりを延 はうぶりやゑ又 紀 詔 波布理を可乃八盛と 次のはふそのハ里より出

はうぶり

はゝきぼし 和八ゝ 支保之 彗星

はゝきぼし

はたおり 虫之 和波 太波里尓 促織

はたおり

はづくろひ 和波都久呂比 註鳥理毛也 敝

はづくろひ

はらのふえ 戦の具之 和 波良乃布延 大角

はらのふえ

はらから 僧祐具之 和 波良加良 朋

はらから

はるさめ 和波流佐米 春雨

はるさめ

はるのはひ 和波知須乃波比 字荷本乃白久支 蓼

はるのはひ

はるもやはろふ 古波比母登富呂布又波比母登富理 和 異波比茂等保理 ハ発語 甸纏

はるもやはろふ

はかりのまち 和波加利乃波知毛之

はかりのまち

はゝか 望波ゝ加ゝ之乃 於保地 和 可

外祖父

はゝそ 万葉波ゝ曾乃 和 波ゝ曾乃 柞

はゝそ

はゝかた 字母方乃波ゝ 和母方乃波ゝ加太乃 外祖母

はゝかた

はゝそ 故ゝ字の假字ニ まゝそのまゝそのゝれ

はかり 権衡

はかりのおも

はたのはいくさのおぼぢ 望波ゝ加ゝ之乃 於保地 和 可

外祖父

はゝかた 婆ハゝ大母の略なり 万葉ニ父母の兄弟を平治ニ婆ヤ 又ハ小父小母の義

○比部

一言

い 清音

比。妣。非。悲。斐。飛。必。秘。彼。被。肥。卑。婢。賓。嬪。辟。避。譬。臂。費。

ひ 清濁二音

田比

備。鼻。眉。骨。娟。寐。弭 濁音

二言

ひぢ 字和

比知 臂 又肱 肘

ひぢ 土之 紀埴土を于毘尼 汁土を須毘尼 和遠江で土形を比知加多 カタカタ

ぬる、を云 万葉漬を比豆知やよむ 漬 ツケ

ひぢひづ

ひえ 山名 吉日枝

比叡 又日吉○吉の古訓延之誤

ひを 小魚 字和比乎

氷魚 字魚

ひえ 字和

比衣 稗 字書草似稗而實細

三言

ひじり 吾國天皇を日知り 万葉宮寄比志理

聖

ひごと 和比古東

失聲

ひなひ 和比太比 字犢を比太比乃加々保利

額

ひたひ

ひゐ 字和比井

堰 井の子のひゐや沼もまもて名づくるか

ひる 虫之 和比々流 註蚕作蛭多出也

蛾 ヨ亟 和比太流 註老蚕之

ひつじ 獣之 和比豆之

羊

ひつぢ 和比 豆知又於呂加於比 註自生稲之

稽

ひづち 和比豆知 註畜足之

ひい

ひこえ 字木細枝之比古波

杪

ひほ 和比之保 字醢を内比之保

將酉

ひきね 繪紀比支為天 字揖

率

ひたを 紀昆陀烏

頓丘

ひやへ 一重之單曰 和比乃

ひろひ ひろふ ひろへる ひろゑ

拾 繪後紀 比支為天由久 古本催馬樂

づ 蜘蛛の特へ 紀秀を保牟のみもあるべし

秀

ひはだ 檜皮之 五はたずき皮為酢すゝ考り

閉岐奴註衣の無裏呂単ト

ひきね 繪紀 を比支為天由久

ひこえ 字木細枝之比古波

杪

ひたを 紀昆陀烏

頓丘

ひやへ 一重之單曰 和比乃

ひろひ ひろふ ひろへる ひろゑ

拾 繪後紀 比支為天由久 古本催馬樂

比呂波牟

四言

いえぢり 常ニ云ひよもぎ 和比衣土里鴽

いむが 國ニ紀碑武伽 和比宇賀ヘ行ノ八平吉 日向

いもー 和比手無之註朝生暮死虫ヘ 蜉蝣

いぢき

いこばえ 字鏡古波衣蘇軟而復生ヘ 蘗

ひらぎ 木ニ固比今羅木之ノヤ訛 和比須支毛 鹿尾菜

ひきおび 和比岐苅比註小帯ニ 衿帯

ぢまき 和比知万岐註在臂上著ものもせくくろ やう万久流日訓 釧代と久志呂

ぢーほ 古ハ塩折之約五異蓋之八塩乃衣 和備中ニ釧代と久志呂

ひぢりこ 和比知刑古又古志保伊利の伊を手ヲ通してえニ今一ハもゐハ畧ヲもぢり

ひつぐさ 草ニ和比豆之久佐 白鮮

ひやへ小 一重さ同 偏

ひ泥

ひいだまし 和比乃太万比久ノ訛 副車

ひざのかはら 和比佐乃加波良註

ひーこいもー 和比留無夜末比註不能行也 痿痺

ひさの

ひかげかづら 參具ニ和比加介加都良 蔦雑ノ総髪

ひたひぐさ 草ニ和比支乃比太比久佐又義浪乃祢久佐 細辛

小魚ニ古比志古鰯 和比師古以和之 鯷魚

膝骨ニ 膝骨

ひつぐさ 和比乃太万比久ノ訛 副車

ひやひやぐり 和比乃比久利 太白神

ひいだまし 和比乃太万比久ノ訛 副車

ひざのかはら 和比佐乃加波良註

ひーこいもー 和比留無夜末比註不能行也 痿痺

ひさの

ひかげかづら 參具ニ和比加介加都良 蔦雑ノ総髪

ひたひぐさ 草ニ和比支乃比太比久佐又義浪乃祢久佐 細辛

ひげづら 古事記日本紀ハ蘿ヲもて名ヅケ今ハ多ク葉ヲもて名ヅケ又ハ玉ヲもて名ヅケ山ヲもて名ヅケ又松蔦雑ノ如キ

五言六言八言

○不部

一言

ふ 不。否。布。副。扶。負。敷。浮。甫。輔。賦、府。俯。箙。赴。清音

夫。父。芣。

芣。霧。鶩。部 濁音

蜂音 二字一言 万 夫

二言

ふぢ 古 布遅葛 万 和 布治 藤

ふじ 駿河郡又山名之 和 浮志 富士

ふえ 紀 府曳 和 同 笛

三言

ふぢな 草之 和 不知奈 蒲公草

ふゝみ ふゝり ふゝまり ふゝむ ふほごもり 紀 府保語茂利 万 布敷賣流 又 嗽布里 字 菿を保含 草 誰花初将開之 含

ふるひ ふるふ 竹器 字 豆利支不留不 和 布流比 篩

ふたわ 長門之 和 布多為 二處

ふけひ 濱の名又人の名 吹飯

ふへし 能登郡之 和 不布志 鳳至

四言

ふくろふ 鳥之 字 和 不久呂不 梟 字 鴟

ふしづけ 捕魚器 字 不志豆介 乃木 和 布之都介 罧

ふきがは 鍛冶具之 和 布岐加波 常にふいごと云 韛

五言

ふなよそひ 万 布奈与曽比 和 同 万 船かざりを云 艤

ふぢばかま 草之 和 布知波加万 蘭

ふぢごろも 喪服之 和 不知古路毛 縗

ふみにぢる 字 不弥介志留 蹸

○閉部

一言

へ　又返。閉。敵。幣。蔽。弊。篇。遍。覇。陛。珮。背。沛。杯。輩。鞞 清音

便辨。別。倍。陪 濁音ヘの濁をえのぬまぬこ

三言四言

へつひ　古本神樂哥ヲ与又都比　竈

へつらひ　宣又豆良不　詐不實言也　諂 又諛、談

○保部

一言

ほ　保。褒。本。寶。富。明。費。報。譜。襃 清音　菩 固清音

凡煩。冬 濁音

二言三言

ほゝ　和保ゝ註面、常目下也　頰

ほえ　歌声ニ図　和保由　嗥 又吼 吠

ほえるほゆ

ほづえ　古本都延　紀方同　末枝

ほし　乾飯ニ字加礼伊比又保忘比　和保ニハス比　糒 又餱

ほいた　備中ニ和保伊多　穂北

ほのお　火秀ト又火ノ穂ニ　焔

ほ　乾肉ニ和保之ゝ　脯

四言

五言十一言

ほづき 草之和保 酸漿 **ほゞづら** 萬之草之和保 百部 **ほゝい**

ほゞがしは 木之万保宝我之婆宝和名 厚朴 **ほゝまらびそのつゝき**

官名之和保宇之方良比乃乃豆加佐 玄蕃寮

を 乾魚之和保之以乎 鯑 又老繋 **ほゝいひ** ほーひの條を在 **ほゝずみ** 和名加乃乎又保々須介又於以加計 絛

〇末部

一言

ま 末万 萬日 滿馬。麻。麼么。摩。磨。魔。糸。魔。莽

二言

まい 黒牛之和名麻伊 烏牛 **へ** 古麻幣 前 **まい** 古麻比 万日 蔕 **まひまふ** 古麻比 万日 續後紀曰 舞 **まづ** 續紀曰先豆先豆 三代実録曰

三言

まよわ 貝之和名万与和 石決螺 **まゐ** 古本神樂哥万乃爲 圓居 **まゐる**

まぬくのまのたハ義ならひ入るまぬ込又ハまうく

まぬくれ まぬ込 まぬけ

古 麻草久礼 紀 同 万 麻爲許牟 又 麻爲之 仏足石哥 麻爲多利 古本神樂哥 万爲利 **参**

まうであふ

参出之 古本催馬樂哥 万宇天 **詣**

まじる まじはる まじへる

万 末自留 古今物名 や知母まじを ふかやまじりかしもう **交**

まどゐ

五 円 又 古 麻表須 紀 円 麻宇勢 式 円

仏足石哥 麻宇佐牟 **曰**

まうけ

万 麻宇気 **儲** 又設

まがひ

不正 麻我比 和 **蹟**

まがひ まがふ まがへる

図 波奈知利麻我比

覓宴哥 万賀布 **紛**

まよひ まよふ まよへる

續紀 迷遍 迷流 **迷**

まよひ まよふ まよへる

万 間乱 和 万与 布 註 繒欲壊 **紕**

まどひ まどふ まどへる

古 麻刀比 續紀 麻度比 和 失意を古今路万土比 **惑**

まづし

古 紀 貧窮を麻治知 やよむ治ハ豆志の约 **貧**

まうた

上総郡 和 末宇太 **望陀**

まとひ まとふ まとへる

比不 倍同 **纒**

四言

まいらを

万 麻周羅遠 和 仏足石哥 同 **丈夫**

まゝはゝ

和 継父を 万々知ハ **繼母**

まゝら

[illegible]

稱人之 和 太番蜜を保守 之万良比切乃豆加佐 **容**

まなこゐ

眼気之 和 眼皮を万奈古為ハ遠了 古爲をゐるハ遠了

まな

まなじり

字 万奈志利 和 同 註 眼尾之 **眦**

まじろく

字 万志呂久 又目太々久 註 目数動也 **瞚**

まゆずみ

和 万由須美 註 画眉墨也 **黛**

まもたし

和 末和多之 註 壁中之横帯之 **壁帯**

まないた

厨の具之 末奈以太

姐

まじこり

祝 麻自許利 **眚**

まじなひ まじなふ まじなへる

祝 悪物の災上のまじなりの轄之 **禁**

厭

まひなひ

古 万 帯を麻比 かえかひハ辞 **賂**

まつろひ まつろふ まつろへ

古 不順人を麻都漏波奴人等 紀 麻都羅 ハ又ロト也

有 万 麻都呂倍 **随順**

まじはる まじへる

三言まじるに出 **交**

まかなひ まかなふ まかなへる

字 万加奈不 註 究之當之 **擬** 又賄

まもらひ まもる まぼり

古 麻毛良比 紀 同 万 麻毛 古本神樂哥 万保里 流 **守** 又護

五言十言

○美部

一言

み 美。彌。瀰。未。味。尾。微。弭。寐。民

二言

みづ 古養豆 紀方円 水

みづ 紀弥 圖 瑞

みづ いつきおり古 養都紀方祝円 稚

みを 水の泡きらく 方 美子和水眼

みお 大和ヲ在 三輪

みえ みゆ 古紀方円 所見

三言

みづ 船を美子比 岐能布祢 ノフネ 水脉

みを 酒をかみ〳〵る器を玄曠 ヨロ 神酒ヲ 盛のませのみ思ハ誤紀弥和方

古義延 紀方円

まわいおび 和未乃万宇之経執 蹈司射中當撃ヲ 司旅

おつはしのうへのきぬ 衣の名ヘ和方都波 之乃宇倍乃岐奴 縫掖

まさきづら 真栄葛ヘ紀 磨左葉垣羅

みづは 水神紀景 都波和名 岡象 又圃 陂

みづち 吉義豆波知 五 和 註 屈髪ノ 髪

みつを 馬具ノ 和 義豆乎 鐙鞦

みぎは 水際ノ際ハ 義都久 汀 和 ミ 義 久 支 サ

みさと 古書ニハ

みそ

みづら 和 義豆 波知 上ノ日 和 魍魎

みづち 龍属ノ 和 義豆知

みづち 虫ノ 空 弥々 変 和 吉本催馬楽 守 日 虹 蝀 字 蜺

みづ 虫ノ 空 弥々 変 和 吉本催馬楽 守 日 虹 蝀 字 蜺

ち 仏尼石哥 弥蘓知末利の知ハ豆の ツ 略ノ ハ百つ 徐ノ ヲ 九つ ナ ヤ ヨ ツ 十 ソ

三十

みかは 國 義加波 矢ノ河

四言

みづから 續紀 都可良 自

みのわた 職員令 義乃和太 三膓

みづかき 和 義豆加支誌 鳥雁足指間布

みづく 鳥ノ 和 都久 又 義久 都久 木兎

みづがき 和 義豆 加岐 瑞籬

みづうみ 和 義都宇 義誌大池ノ 湖

みづのえ 水の兄ノ 壬

みづのと 水の弟ノ 癸

五言七言

みづぶくき 草ノ 空 水 不久支 芡

みづぐるま 水脈纖ノ つ 助 五 水子都久思 澪標

みづかみ 和 義豆 加祢 水銀

みづばかり 和 義豆波加利 ○常ニみづあい 準繩

みづくり 獵 義都 義都斯 紀 日

みちのく 國 五 義知乃久 和 義知乃於久

みづくり 獵 義都 義都斯 紀 日

みちのく 國 五 義知乃久 和 義知乃於久

みづかき のみづの瑞の字を用ひたり 多一直雑の名のみ

幕掾連 著者也 噴

空 耳志 比 和 贅

囊

みだらをのうま

和義太良乎乃宇万忽詞青白雑毛馬也 駮馬

みやのま

くはい わや唱

古義斗能 麻臭波比 遘合 眞字 紐

○武部

一言

む

武。牟。無。无日 鵡。務。霧。夢

二言三言

むべ

乳類曰牟用 郁子

むし

歌之圀和牟志奈ひ推古紀傍訓ふ宇自奈ヤ有古宇をえ浪僕世武ま誤多ー紀訓是う 搭

むかひむふ むもへ

古牟加比ふ 閑五日

むかし

古牟加比。牟加布。牟迦弊流五日 向

むくい むくり

古牟久伊ひむくふむもへ古ハ誤 報

四言五言

むかし纹

正妻之字牟加比 米又毛刀豆米モトツメ 嫡

むぎわすき

麥擊木之和牟岐於須紀 衧麵杖

○免部

一言

免 免。糸。賣。馬。毎。梅。昧。迷。謎。面。咩。綿。璠

二言

免ひ 兄弟之女ノ 和 米比 姪 又娣

免ら 和 米阿 婁

免のたゝ 免のた 和 米乃於乃又ホ 乃加又知於毛 乳母

免はゞき 草之 和 米波之支 莞蔚

免かつら 本之 和 米加豆良 挂

免づら 紀梅豆羅志 **免づる** 紀梅 和 米豆留 感 又愛

三言

免ちひ 空 目 志 比 和 可 肯 又馨

免づる 紀梅 和 米豆留 感 又愛

四言

免ぢはしり 免ぢはし 和 米阿 波須 婁

免はゞき 草之 和 米波之支 莞蔚

免かつら 本之 和 米加豆良 挂

免づら 紀梅豆羅志 **免づる** 紀梅 和 米豆留 感 又愛

希見 紀梅豆羅志 **免づる** 紀梅 和 米豆留 感 又愛

さて上の免づるや同感也 和 万希見也 古今六帖の感也 万葉

一ていまれなるすもゝなる故ニ今うつゝに別て筆をハ後ま

多くのみ

○毛部

一言

も 毛。母。門。問。聞。悶。文。目。物。勿。茂。忘。蒙。謀。望。暮。墓。慕。模。謨

木莽 牛僻

牛鳴 二字一言 五毛

二言

もず 小鳥之字 毛受和同 鵙字綴

もち 鐘之和 毛邊 鍬

もひ 風異之紀 抱擎暮 此和未里之毛比 盌

もえもゆ 草木芽生之續紀 毛延同ク毛伊 萌

もひ 古本惟喬親王之義毛比 和玉水 司之毛比乃里乃豆加佐乃豆

もえもゆ

水気之古毛由流 和燼之毛延久比 燃

もと上のとひや同皆 水を盛器をとてえ

もみち 五毛義 知和同 黄葉 柔葉

もちひ 毛黒之字 和ヲ久比 雞尾 螫

もえ 色之ハ 二言出 萌黄 萠葱

もづく 海菜和 毛豆久 水雲

もちひ 字和毛 知比 餅

三言

もみち 五毛義 知和同 黄葉 柔葉

もちゐもちろ

もらひ もらふ もらへる 字鋪設食 良比波无 賄

もえぎ 色之ハ 二言出 萌黄 萠葱

もぢ 本居 基

もぢゐ ハ飯の器之もちゐも共に

用

もづく 海菜和 毛豆久 水雲

もちひ 字和毛 知比 餅

四言

もろはだ 和毛ヲ由比註ス組束髪之 鬢

もえくひ 和毛延久比 註久餘木之 燼

もゝ 本居

もよほし 春虫の際ちよひ出るようなべて催

もよほし 鷹見之和 毛度保利 旋子

もゝそぢ 百日登本斯 紀茂名階之 續紀細理五字同

もゝそぢ 陸奥那和 毛牟乃不 桃生

もろはだ 和毛ヲ由比註ス組束髪之 鬢

もえくひ 和毛延久比 註久餘木之 燼

もゝ

ろぬ　備前ノ和毛刀呂爲　物理

五言八言

ものぐるひ　病名ノ和流比又ハ太布流　癲狂

もゝづたふ　冠辞ノ古毛ム豆多布和同　百傳

乃豆加佐　壬水司

もぬけがは　字毛奴介加波　蛻

もひゝりのつゝさ　官名ノ和毛比刀里

○也部

一言

や　也。夜。耶。椰。娜。瑯。揚野

二言

やへ　古夜幣紀五同　八重　又弥へノ畧

やはら　古夜　八百　又弥ホノ畧

三言

やむを　無夫ノ和夜無乎　鰥夫

やむめ　無夫ノ和夜無米　寡婦

やまひ　和夜万比　病

やはび　和夜波須詮筋受弦処ノ　箸

やおり　古也志利　並筋垂ノ

やいば　焼又ハ鋭ノ切通リ　刃

鏃

やらひ やらふ やらへる
古神夜良比訓夜羅賦 今本夜を波と誤れり 逐 又儺

やよひ
草木弥生の略 三月

やぢふ
大和にて和也支布

やさら
或は和字

やまと
紀野伊徒姑 奴

やいづこ

やまたづ
吉夜麻多豆誤是今造木者也和錯 弩多都岐誤 廣刃矛也と同趣

やいぐー
久宇奥と和夜は久之 弗緑

やはらぐやー
五夜波之和同和

やうー

やーはご
曾孫之子と和夜之波古 玄孫

やまたへ
紀那始儺破勢 守也志奈不 養

やはらぐやー

ぐひ
盛矢畢と守也 奈久比和同 能 守敏

み
草と守恵弥又安万奈和 於保の恵義と夜ま恵義 黄猸

やいぐー

やーと

やまと

揚生

四言

五十九

本耶々と共耶を延て耶宇 漸
やゐと古本神樂哥也宇也宇

五言六言

やいばた
火田と和也はハ火の今畑 琴
字ハ火田ニを合すゝ 田

やまたへ
和泉と和 山直
也志多倍

やまとい
津國と和 楊津
也奈は豆

やはらぐさ
草と和夜 黄者
波良久佐

やまぶき
草と和也 欸冬
ま不々支

やうかのひ
八訶の日 楊筥
之也を延

やまのかけち
和夜 峡
山間と和 山乃加比
末乃

やまのかひ
山間と和 峡
山乃加比

やまびらぎ
草と和夜未 巴戟天
比々良支

ちいばこ
調度と津國ゝ揚津を也奈は豆也
え如く也奈岐の岐を以に通ず

やはらぐさ
草之和夜 黄者
波良久佐

やまぶき
草と和也 欸冬
ま不々支

やまとい
津國と和 楊津
也奈は豆

やまたへ
和泉と和 山直
也志多倍

やいばた
火田と和也はハ火の今畑 琴
字ハ火田ニを合すゝ 田

ちいばこ

やまのかひ

やまびらぎ

やまのかけち

やう

やの

へのこけ
屋上谷之和 屋遊
夜乃倍乃古介

ちいばこ
調度と津國ゝ揚津を也奈は豆也
え如く也奈岐の岐を以に通ず

やまのかひ
山間と和 峡
山乃加比

やまびらぎ
草と和夜未 巴戟天
比々良支

やまのかけち
和夜 峡
末乃

やう

やの

へのこけ
屋上谷之和 屋遊
夜乃倍乃古介

古今集の河ぞひの
うの日やう
ゐのおや
をつひ
あそくひ
やうか
日よう
やふ
八種

加介知誰山
路阿道也 石道

○由部

一言

ゆ

由。遊。游。吏。庾。愈。喻。踰。瑜。

二言

ゆき 紀吏 湯坐

ゆえ 古由恵 紀支弓 故

ゆふ 万木綿を剥豊後風土記柚富古事神楽哥由不 ゆふはもや野蘞之枝の如き

ゆふべ 五由比ゝ由布 結

三言

ゆふべ 万由布敝 夕

ゆくへ 万徃方 後ふけく亦ゆふへ

ゆはずみ 弓末ゝ万弓波受和由美波数 弭

ゆげひ 備前ゝ

ゆづる 仏足石哥由豆利 竟宴哥由都留 譲

ゆふき 下総郡ゝ和由不岐 結城

ゆふさり 暮之雷不佐利 晡

ゆふつく 星之和由不豆 豆註暮夏 太白星 長庚

ゆづるは 木ゝ万由豆流波 交譲木

ゆみいる 和由義以留 射

ゆみづる

ゆはり 和由佐波利註以縣縄懸空中以為戯也

ゆみづら 和由義都加註弓之中央ゝ 弭

ゆづき 和由義都流 弦

あお 和由乃阿和俗云由玉註埜石液之 硫黄

ふぢ涙 葛仲之夕ハ二言顔ハ加部に出 夕顔

ゆかた 和由比介 靴負

四言

○延部

一言

え 衣延要曳依叡哀埃愛音

吉善訓

二言

えい 字衣比註 編平魚 鰯

えだ 手足ノ 和衣太 肢

だ 近江郡愛智和衣知 遠江口依智和訓上

上のえひ ばゝのゆゝ えひまて 次のえひ ゆゝ

可愛 二字一言 和哀

兄江荏園衣 援枝柄柯得

えい 和衣比註俗 青長皃骨者也 鱏而 鱣

えだ 梢ノ古延 又條 陀和方同 枝 柯幹

えび 和衣比註俗 用油老二字 鰕

えぞ 古言ホヤ(紀愛) 詩ノ物語ノ ヒシ 蝦夷

えち 越

えの 薩摩都ノ 和延乃 頴娃

えな 加賀ノ 和衣多 英太

五言

ゆきかひ ゆきふ いきうろ 五往又ヲ訓新五往 買ノ買借字加比ノ 往反

ゆきされば 雪ニあれバうう 舌 由布佐礼婆 方同

ゆふづくよ 方由布 豆久欲 夕月夜

ゆまはり 流由 麻波 由

三言

えをぢ 父の兄之 字衣乎地 阿伯

えひら 和衣比良註 養蠶器也 蜾蠃 竹簿

えみーえび寸 紀憂愁詩○えびに 八数や備志也須通 蝦夷又夷

えふり 農具之 和延布利 註杷之無齒者也 朳

えつり

えやみ 和衣夜麻又和良波夜 麻註二日一発之病之 瘧

えやみ 和衣夜麻

えらびえみのえらふえーむ 源順曰小甲子を ーーきのえらひ

えらぶ 屋具之 紀 哀都利 和可 蘆篦 和我

えやみの 疫の字音多 べけれや ありーく 準

又登岐乃介註民皆病之○ゆえやみの疫 えい疫の字音あるべけれやえーべ

小人てや 擇也 訓○平言よるやまとうた 擇 又可 擇 おのつーー疫与同音にて 擇入り

えくに 伊勢乃 和衣久尓 兄國

四言

えをむー 字衣 米虫 蛔

えび寸祢 草之 和阿夜米太 無又衣比須祢 地楡

えびし

五言

えやみぐさ 草之 和衣夜麻久佐又迩加奈 龍膽

えびすぐさ 草之 字衣比須州 又山佐介 和衣比須久須里又奴麻久須里 芍藥 又字茨を衣比須久佐 和決明

えびかづら 菓草之 和紫葛を衣比加豆良 蒲萄を衣比加豆

えのぼら 和衣賀波良註 小兒腹病之 痞

次 油菜之 和比呂 米又衣比須米 昆布

良乃誤 同訓

○與部

一言

よ

與、与日 豫 預日 餘 余日 用。容。欲。譽。庸。遙

二言

よひ 紀豫曾 万日

援引ノ 五保都 扶與治等理 攀

よは 夜日之波ハ未に通ふ日を日タ日のる之 夜半也ちハ假字のみ 夜

よぢ よづ

三言

よはひ 真實哥 与波比 齢々

よばひ 吉用 婆比 結婚

よほろ 近江ノ丁野を 和 与保ロ也ヲ ヨホロノ 丁

四言

よろふ 備足之 五 取与呂布トリ

よろひ よろふ よそほふ 演楽上声 和与路比 鎧 甲

よをり 折遠部莊節

よろ

よそひ よろふ よそほふ 吉与曽比 紀五日 儀

よわ 吉弱ヲ 俊之字 膝を於毛与和志 面弱之 弱 柔

よそぢ みそぢの條よを 四十

よみぢ 黄泉道の名

づ 紀豫呂豆 五 仏足石哥日 万 萬日

行事、弐江 次第ます也

よそほひ よそほふ 上のよそひる日 仏足石哥 与曽保比 儀 莊日

よろぼひ よろぼふ よろぼへる 吉本俚馬 樂哥 与呂

よそほ よそほへる 保比 逶迤

五言

よばひぼし 和与八比保之 流星

よろひぐさ 草之 和 与呂比久 佐又加佐毛知 カリモチ 白芷

古言梯

よちをざ

和字佐之又与知乎乃、魚

よゝゑや

方 縦哉を訓又縦恵夜思又吉咲八師○恵やハ助辞のみ

よみがへる

字与弥返 詩更生ノ 鮒

○良部

一言

ら

良、浪、羅、囉、邏、擺、樂

○利部

一言

り

利、唎、梨、犂、理、離、隣

○留部

一言

る

留。流。琉。瑠。類。累。盧。蘆。屢。樓

○礼部

一言

礼 禮

例。戾。黎。連。聯。憐

○呂部

一言

ろ

呂。侶。路。露。稜。魯。盧。廬。樓。漏

○和部

一言

わ 和。倭。王。淀 音ノ

三言

わらは 字和良 波和曰 童

わらべ 古和岐 轜紀曰 吾家

わらひ こらふ 字和良不 こらへる

四言

わたづみ 海神ノ渡ル海ノ義ナリ 紀和多都美 和同

わらべ 和和良波倍 註童男女ノ 倡子

わ

笑 咲 嗤

廻輪九訓ノ

らふだ 和和良布太 註草褥ノ

圓座

わざをぎ 字可笑ヲ阿奈乎加之ヤ 紀俳優ヲサザヲギヤ訓 古本神樂哥加ノ良乎支ヤ等ノ如ク合セテ濁字モ亦ヨムベシ

わざ 禍 災ニ比

わく 字和奈ノ久 文千乃ノ久 惜

わきまへ 辨 倍ヤ不ヤ通

わきへ 古和岐 轜紀曰 弁

わさらひ 伊勢郡ノ和 和多良比 度會

わさ

たらひ わさらふ 常ノ世ノ汲ヤニ云ヒサ重ネ良比ノ約リ 活 紀

わさらひ 三代実録

わさ

五言

わらはやみ 和和良波夜美 又衣夜エヤ 義註二日一發ノ病也 瘧

わ

〇爲部

一言

ね 爲。委。萎。位。威。葦。偉。渭。謂。音

率 訓

蝙蝠 二字一言 和爲誰共 鵺似野而大者也

井。居。座。處。猪。衾。豕。亥。寢。

二言

ねる 和爲流註船著汝不行也 舩

ねい 遠江つゝ 和爲以 渭伊

三言

ねのこ 紀偉能古 豕

ねもり 字爲毛利註螻ヘ井中ニ出 蜩

ねめる ねねー 上井子 率宿ヘ 古 井泥蚯 紀

方 ね

ねざり 居去 膝行

ねたふの 五居中 和爲奈加。田居中の畧 田舎

ねぐひ 古草具比 紀字曰 堰榻 字栰

ねさり 農具ノ 和爲佐利

ねせき ねせく

字爲世久 和爲世支註坐ヲ退ケ家ヲ 堰塒

ねちべ 伊勢郡ノ 和爲奈倍 負辨

ねやび 續紀爲夜備。或ハねやまひ みてうやまひ 日爲宇面 禮

又曰國ノ 和曰 井門

ねぎらひ 和爲佐良比 謝坐慰ノ 殿

ねのー 和爲乃阿之註 找之卷繒者ノ 織裙

ねて

ゆく サリ行ノ 率往ノ ねハ比 岐爲の畧ノ キ井

四言

五言

○惠部 ハ於ノ上ヲ立ツヨシベシ

おちざま 名 和 爲 豆之 知古未米 珂字豆

おのくつもち 草之 字 爲乃久豆 和 爲乃久豆知 和

おのがいひ 草之 和 爲乃乃介支 豬魁

おのがいき 知字相似ヨリいつれノさかゝん 字 又爲乃伊比 牛膝

○於部

一言

お 於。汚。意。憶。憶。飫。隱。乙。應。磈

二言

おや 紀 於夜 詔 五 日 親

おと 紀 於暮 五 日 母

おも 五 於毛 面

おぢ 字 於地。大父の畧 祖父

おば

お

おみ 古 漱爰 紀 同 臣下之名加婆称

おに 和 於介 詭隱 童詭也ト云説ヲ

おいたち 古 漱伊 紀 於喩。たふやぎ又誤又 五 意余。老

おいおよ 見の人やあるをもおよづけやうを老附ク

おほ 貝ノ字 和 於不 白貝

おし 獵具之 和 於之 鼠聲

おん 忍之大和郡忍海名 紀 於 泥農漑又飲漸能罷倦ノ時

み 紀 於漑。人名又加婆称 使主

むれ 古 意礼 紀 同。人を後先てゝ云ふ後世みづ〳〵もゝ云又人を残しもおのれやうよんばたれいたのんの意ヲ

むこ 字 和 於波。夫母の畧 祖母

宇

おそ 五 放曽乃風流士 又放曽痴鈍

おひ 古 激波牟又不負を激 波受 五 於比又於布 負

おき 又いき 万 於吉 息

おき 古 激岐 紀 万 曰 置

おきく 除置ニ五 於伎豆

おきく 古 激伎 万 憶久 奥

おきく 紀 於 已 万

おひ 五 於 比 追

おき 海川ヲ云 古 激 伎 紀 万 曰 瀛 又澳、沖ヲ訓

おび 紀 於 五 和 曰 帯

おき 國ニ和 於岐 隠岐

おち 紀 欽斯 押 推

おと 五 於登 音

おち 五 於曽 新万 曰 乙

おち 紀 乙ヲ於ノ仮字ニ用又山城郡乙訓和 於乃久地 乙

おぢおつ 古 激 知 万 曰 又於都流 落 又墮

おふ 上総つゝ 和 於布 飲富

おう 出雲郡ゝ 和 於宇 意

おそ 万 放曽乃風流士 又放曽痴鈍 也此君又忌鈍手向ノ為在ヨロボソツノ名ゲテシ

おひ 古 激波牟又不負を激 波受 五 於比又於布 負

おこす 古 激 波受 五 於比又於布 生

おほ 古 意富 紀 五 和 曰 大

おぢおつ 字 於豆 忙怕

おる 古 激呂須波多呂 須約流ゝ 紀 條文を

おこす 古 激 波受 五 於比又於布 生

おきく 古 激 伎 万 憶久 奥

おきく 紀 於 已 万

おき 古 激岐 紀 万 曰 置

おきく 除置ニ五 於伎豆

おき 又いき 万 於吉 息

おき 国ニ和 於岐 隠岐

おち 紀 欽斯 押 推

おひ 紀 於 五 和 曰 帯

おき 海川ヲ云 古 激 伎 紀 万 曰 瀛 又澳、沖ヲ訓

おかみ 風雨を司る神ゝ 古 激加美 紀 万 曰 龍

おほぢ 父の父ゝ 和 於保知 祖父

おきそ 紀 於

おきそ 大人の男 あ〜ん

おとそ 老女 五 意富須、老〜ふ云ゝ老〜れい老女 おとろへ 和 姫を於無奈 無由良

おとび 多里の指ゝ 和 由比又於与比 拇を於保於与比 食指を比刀佐之乃

おとび 及ゝ 古 伊勢物語 及字を 上の指を借用

おりべ 官名ゝ 和 於里倍 織部

おほね 官名ゝ 和 於保萬 大炊

おほき 草 和 於保之 大黄

おほね 大根ゝ 古 激 富泥 紀 和 曰 蘿蔔 又菜蕪蘿蔔

おほね 官名ゝ 和 於保萬 大炊

おほき 草ゝ 和 於保萬 許可爲帯者也 莞

おとび 彼ヲ五 方ゝ 和 曰 公羽

おとび 指 中指を奈加乃於与比 無名指を奈今之乃指 季指を古於与比

おとび 定 於、不志 和 曰 註 不言ゝ 瘖唖

おとび 後ゝ大臣を称ーてお やびやゝ大殿の男

おとび 紀 於謀提 万 曰 又於毛 面 表

おとび 多里の指ゝ 和 由比又於与比 拇を於保於与比 食指を比刀佐之乃

おとび 及ゝ 古 伊勢物語 及字を 上の指を借用

おとび 後ゝ大臣を称ーてお やびやゝ大殿の男

おとび 彼ヲ五 方ゝ 和 曰 公羽

おとび 指 中指を奈加乃於与比 無名指を奈今之乃指 季指を古於与比

おとび 定 於、不志 和 曰 註 不言ゝ 瘖唖

おとび 多里の指ゝ 和 由比又於与比 拇を於保於与比 食指を比刀佐之乃

おとび 及ゝ 古 伊勢物語 及字を 上の指を借用

おとび 後ゝ大臣を称ーてお やびやゝ大殿の男

おとび 彼ヲ五 方ゝ 和 曰 公羽

おとび 指 中指を奈加乃於与比 無名指を奈今之乃指 季指を古於与比

おとび 定 於、不志 和 曰 註 不言ゝ 瘖唖

おにのうた 三言み云

おにび 鬼火 ㊥和於途比 註人及牛馬骨死者血所化也 燐

おふる 字袁呂 棟 字萩 ㊥於布流古 儛樂奇曰 生

おほひ 野菜之和於保比 苔蘚

おくて 稻之遲キ熟ニ和於久天 晩稻

おほみ 大御代をそひ大御おやの皆曰和於朋漑 仏足石哥曰

おふる 又久ゝ流詛終事取也 絲車

おほや 古漑毋比又意思毋布 和 五曰

おもへる

おほひおもひ 古漑幣理曰字慢覆を奴利於保不和 車具幣縦を久飛於保比 西復

おもひ 保伎 多

おもし 和 攝衛を波加利乃於毛之ノオモシ 重

おほか 和於保加

おきび 古今物名おき 字於支比和曰 熾

おほや 儛の具ニ和於保乎 傢

おくて 稻の遲キ熟ニ和於久天 晩稻

おぼろ

おそ 字於曾之和御轉ヲ久良於呂須ノ 卸

おほそ 大御おやの略ヲ凡ヲおほそ 凡

おそし 字於曾志和鴛ヲ於曾伎宇馬 遲

おちず

おくりおくる 五於久理和曰 贈又送

おくれ

おこせ 五ハ塩木澁而於己ヲ勢多流ヲ俗よこせ曰 遣

おびえおびやかす 字於比由 悸然

おふ 字於与支註水中を行ク 泳

おぼれ

おごり 字於曾乃多ぼろ 奢

おほよそ 字於保曾乃多ぼろ 概

おほけなし 分ニ過ル

おほふ 字於保不 蓋

おほひ 覆ヒ

おほやけ 公

おほね 字於保祢 大根

おほね 和於布知 大木

おほね 讃岐郡ノ和於布知 大市

おほち 播磨備中ノ三和於布知 大内

おほふね 船

おほみ 因幡郡又

おほやけ 大内ハ保中の約布るんバおちやも大市ハ保の約此等の字布ふ格にてあるべちやも

おぼほし 和於布須雜藝ノ部ヨ出 拍浮

おぼる 重ル人ヲおもる也 溺

おぼえ おもほゆより出 覚

おぼふせ 續紀於不世五稻曰又續紀五於保世ヤ

おぼね 山城郡ノ和於多岐 愛宕

おきて 行定ルべし 掟

おたぎ

おふみ

おふち 讃岐郡ノ和於布知 大内

おふね 字於不祢 大船

おらび 五於良比口 叫

おもほゆ 五於毛保由 思

おもほす 五於毛保須 念

おもほし 五於毛保之 覚

おもほえ 五於毛保衣 覚

おもほろか 五於呂可 愚

おさへ 五於佐倍 押

おそ 五於曾 鈍

おそれ 五於曾礼 恐又懼

おこし 五於己志 許之 起興發

おこせ 五於己世 遣

おくりおくる 五於久理 理和曰 贈又送

おくれ

おこし 五於己志 許之 起興發

おこせ 五ハ塩木澁而於己ヲ勢多流ヲ俗よこせ曰 遣

おびえおびやかす 字於比由 悸然

おごり 字於曾乃多ぼろ 奢

おほよそ 字於保曾乃多ぼろ 概

おぼれ

おぼる 重ル人ヲおもる也 溺

おぼえ おもほゆより出 覚

おぼふせ 續紀於不世五稻曰又續紀五於保世ヤ

おぼね 山城郡ノ和於多岐 愛宕

おきて 行定ルべし 掟

おたぎ

おふみ

おふち 讃岐郡ノ和於布知 大内

おふね 字於不祢 大船

おほち 播磨備中ノ三和於布知 大市

おほふね 船

おほみ 因幡郡又

おほやけ 大内ハ保中の約布るんバおちやも大市ハ保の約此等の字布ふ格にてあるべちやも

四言

石見ノ〻 和 於布波 邑美

おざか 大和ノ〻 古 意佐加 和 日 忍坂

おほく 備前郡〻 和 於保久 邑久

おほち 石見郡又能登ノ〻 和 於保知 邑知

おほぞら 宇 於保 曽良 太虚

おほみま 国 於保 美麻 御體

おほみまば 祖父の母〻 和 於保美波 曽祖母

おほをち 和 於保乎知 従祖父

おほをぢ 父の弟〻 宇 オト 於保乎地 阿叔

おほよを 長子の妻〻 和 於保与米 奴婦

おほりかむ 宇 於加 比 和 日 領

おほをち 骸ノ〻 古 意富岐 美 和 日 大君

おほをとめ 次子の妻〻 和 於保乎止米 娣婦

おほをぢ 男子の後ル生ル〻 和 於乎乃古 宇 乎乃古 竟宴哥 於登 弟

おもだ 和 於毛太 可宜 面影

おもむく 面向〻 赴

おもむかり 面向リさる 竟宴哥 於牟加斯 宇 偉感ス

おもわる 顔面をも訓ハ於毛我志ヤ〻訓ル日 面悦ノ〻奇〻

おほつち 和 於保豆知 蟋蟀犬脚〻 蚯

おほかみ 獣〻 和 於保加美 狼

おほむし 宇 於米 虫 和 日 蚰蜒

おほむかで 和 於保之加天 俗 訛而大者也 蜈蚣

おほにり 和 於保 乃 保 乃 蝮

おほをみ 草〻 和 於保乎美 ヲハ乎ノ誤ナルヘシ 黄精

おほをぢ 草〻 宇 於保 波古 和 日 車前

おほをぢ 草〻 宇 於保 比留 和 日 大蒜

おほばこ 草〻 和 於保波古 芣苢

おほみら 草〻 和 於保美良 薤

おもだか 水草〻 枕冊子 面高の葉ホヒ〻リ 和 奈木加 澤瀉

おほぜり 草〻

くさ 草〻 和 於 之久佐 玄參

こ 木〻 和 於保太良 食茱萸

ら 利 鸛

もかげ 五 於毛 可宜 面影

もむく 面向〻 赴

もかり 面向リさる 竟宴哥 於牟加斯 宇 偉感ス

もわる 顔面をも訓ハ於毛我志ヤ〻訓ル日 面悦ノ〻奇〻

つち 和 於保豆知 蟋蟀犬脚〻 蚯

かみ 獣〻 和 於保加美 狼

むし 宇 於米 虫 和 日 蚰蜒

かで 和 於保之加天 俗 訛而大者也 蜈蚣

にり 和 於保 乃 保 乃 蝮

をみ 草〻 和 於保乎美 ヲハ乎ノ誤ナルヘシ 黄精

をぢ 草〻 宇 於保 波古 和 日 車前

をぢ 草〻 宇 於保 比留 和 日 大蒜

ばこ 草〻 和 於保波古 芣苢

みら 草〻 和 於保美良 薤

だか 水草〻 枕冊子 面高の葉ホヒ〻リ 和 奈木加 澤瀉

ぜり 草〻

古本催馬樂等於保世利和當歸を訓 孙 洪鐘

- おばしま 字於波志 万和同 檻
- おくつき 万於久都奇 墓
- おほがみ 和於保土古詮國稚書也 擲
- おほやこ 葬具こ和 尿の器こ和 於保都保 虎子
- おも
- おほつぼ
- おびもの おむもの おぶ 紀於麼細屢字於布和恢無毛乃
- おびより 紐具こ和 於比乃利
- おほゆみ 戦具こ和 於保由美 弩
- おほくび 衣の前の襟こ和 於保久比 衽
- おほにへ 和於保途俗 於へのホホ秀一 苞苴
- おのく 已ゝ 各
- おほいえ
- おほかけ 和冠乃子又保ゝ須ゝ久於以加計 綈 又老鼈菜
- おほみき 古意富美岐紀同 大御酒
- おぼみき
- おりもろ 和於利毛能又加無波太ゝ以縄布簿こ 綺
- 佩
- 韓韈
- おびかは 帯革こ和於比加波 鞣
- づら 馬具こ和於毛都良 鞴頭
- おぼゆ 和於保 覚
- おぼえ 万於毛保由 仏足石哥同 所思
- おもかえ
- おぼえ 紀於乎 豆礼 万同 妖言
- ひ 紀漆等 娜比 喧響音
- おこちふ おこちふ 紀於虚奈比 續後紀行布 行
- おこたる 續紀於太比天縁同 おこやり同 穏
- おこたり 字於曽ら加 義麗良 嬋媛
- おこたる
- おこたり 行廃ら ん 怠
- おぎのり 字於支乃利 賒
- おぎろく 字於度 名久 驚
- おぎろか 字於呂 曽か 踈
- おぎろふ
- おぼやし 字於比 也須 憎 之俳
- おーてる 難波やゝん之辞こ 古於志豆流紀同 擲
- おーねみ 大和郡紀 於戸農濃 忍海
- おぼらき 上野郡和 於波良岐 邑樂
- おほいた 豊後郡和 於保伊多 大
- おほいた 若狭郡和 於保伊太 大肢
- おほやけ 万於毛保由 仏足石哥同 所思
- おやかた 紀於屋形 万同 妖言
- おぼいた 出羽郡名 於伊太我 置賜
- おぼみ
- おぼえ 万 於ホ 可治 衰
- おぼろか 字於保 波留 朧
- おぼろふ
- おぼやし 字於比 也須 憎 之俳
- おーてる 難波やゝん之辞こ 古於志豆流紀同 擲
- おーねみ 大和郡紀 於戸農濃 忍海
- おぼらき 上野郡和 於波良岐 邑樂
- おほいた 豊後郡和 於保伊多 大
- おほいた 若狭郡和 於保伊太 大肢
- おほやけ 万於毛保由 仏足石哥同 所思
- おやかた 紀於屋形 万同 妖言
- おぼいた 出羽郡名 於伊太我 置賜
- おぼみ
- おぼえ 万 於ホ 可治 衰
- おぼろか 字於保 波留 朧
- おぼろふ
- おぼやし 字於比 也須 憎 之俳
- おーてる 難波やゝん之辞こ 古於志豆流紀同 擲
- おーねみ 大和郡紀 於戸農濃 忍海
- おぼらき 上野郡和 於波良岐 邑樂
- おほいた 豊後郡和 於保伊多 大
- おほいた 若狭郡和 於保伊太 大肢

分

をさかべ [和]於佐加倍 伊勢又遠江 刑部

をさのべ [和]於之加倍ナ云ハ誤 摂津ニ上古日訓 忍壁

おほさひ [和]於保左比 大佐ニ 大忍

五言 至十四言

をほきうみ [和]於保岐宇美 溟渤

おほだから [和]於保太加良 又比加久佐 人民

おほくち [字]於保於保地[和]同 曾祖

をちかふち 氏之[古]凡河内[姓]大河内 凡大通ノ用大セ河内ノ低ニ字ヲ出

お

のづから 已讀ヲノヅカラ 自

をびたばり [和]於比之波利 注 腰ノ左右虚肉處也 膁

おほた

よび 大指ニ[和]於与比 保於与比 拇

おほえぞり [和]於保須貴度里 護田鳥 鸊鷉

をほ

おむし [和]於保祢無之 蝗

をそきうま [和]於曽岐宇万 駑馬

おにやらひ

追儺 鬼ハ二言ニアリ おにのやらひ三言ニ委しハ也部ニ在

おほどれる [古]葛英尓延於保登礼流 葛云々

をき

おきなぐさ 草之[和]於支奈久佐又奈加久佐 白頭公 公ハ翁

をほゝそみ 草之[和]於保々曽美 虎掌

おろかおひ 自生稲之[和]於路加於比又比呂知 稆

おほうばら 草之[和]於保宇波良又佐流刀里 菝

築

おこしごめ [和]於古之古米 注 以蜜和米煎作之 粔籹

をしまつき [和]於之万都岐

几

おもしろし [紀]於母之楼 杙[万][字]同 面白 阿怜

おもよわし 面柔之[字]於毛与和志

睬

おもほてる [紀]怒然作色を訓 [字]於毛保旦留 嗔然

をふしのま 丹後ノ[和]於布之万

凡海

をほやまと 國之[和]於保夜万刀 大和

おのごろしま [古]於能碁呂嶋

磤馭盧嶋 [紀]

おきながかは 近江ニ在[万]於吉奈我加波 息長河

をほしかふち 氏之[古]凡河内[姓]大河内 ...ハ内氏ナルハ...

おむかう了於の假字あれバ女英みハいうも姫美のよきん一たむかの氏のすハ大よあのみろみ

かふちとよむべし又續紀大押氏を凡の一字にせしも有り今おほしと唱るハ覚よりの事にて上のおほかふちと云ハあらう 凡河内

おもはくそ
面里子之和於毛波久曽 黽

おほぢふぐり
螳螂の子之字於保地不久利和於保知加不久里 螵蛸

おむなかづら
草之和於無奈加豆良 芎藭

おにのやがら
草之字於尓乃也加良和同又波義 續斷

おほみるくさ
草之和於保美流久佐 葺蘆子

おむものいる
和於無毛乃以流 馳射

おぼつかなき
万於保東無 欝悒

おほとのほかひ
国於保登能保加比 大殿祭

おほおほをぢ
曽祖父之兄弟之和於保於保知乎知 族父

おもとびとまちぎみ
官名和於毛刀比刀万知岐美 侍従

おもとびと うちぎみ
同和於毛刀比刀未宇知岐美 侍從局

おほみこともちのつかさ
同和於保義古刀毛知乃司 大宰府 司

おほきむだちのつかさ
同和於保岐無太知乃司 正親

おほゐのつかさ
同和於保為乃豆加佐 大炊寮

おほとねりのつかさ
同和於保刀祢利乃豆加佐 大舎人寮

おほかしはでのつかさ
同和於保加之波天乃豆加佐 大膳職

おほくらのつかさ
同和於保久良乃都加佐 大藏省

おほいまつりごとのつかさ
同和於保伊万豆利古刀乃官 大政官

おほいおほともひ
職名之和於保伊於保刀毛比 大辨 中弁を奈加乃ゝ 少弁を須奈伊ゝ

おほまつりごとびと
同和於保万豆利古刀比刀 參議

おほいものまうすつかさ
同和於保伊毛乃万宇須豆加佐 大納言 中納言を奈加乃ゝ 少納言を須奈伊ゝ

おほいまうちぎみ
同和於保伊万宇智岐美

花ほまつりごとのむかしまつぎみ

昭和のはじめ
七月より八月まであつき絶ぬ
下つ國ある楫取魚彦
おなじ年の冬にのぼつら
ともみかうづつ

昭和元年於保方豆利古
刀乃於保方豆岐美

俳諧明題集　凉袋仏の撰　諸流発句集　五冊　片歌道しるべ　二冊同

芭蕉桐の一葉　二冊同　茅舎より道は　一冊

其角雑談集　二冊同　蕉宙集は　一冊

葉園集　皐月千春著　三冊　有文要語は　一冊

硯乃残　紀逸撰　二冊　けし書ふりは　一冊

哭るま　恵園自筆　一冊　寒葉齋畫譜は　唐画ふりは　五冊

根なし草　風雅千人集　五冊　水乃出く末　東作著　五冊

志道軒傳　右は　五冊　俳諧茶筅調　高点の句　全

左傳屬事　南陽先生校　大明十三省圖　二枚
　　唐本翻刻　廿二冊　萬國一器界圖
龍門先生文集　二扁　三冊　歷代事跡圖　大清呂君翰訂正　二枚
大疑録　貝原先生著　二冊　物類品隲　平賀鳩溪著　六冊
經義折衷　金峨先生著　一冊　十體千字文　篆及異體　一冊
　　評李卓吾明儒學案　物產之書
陸賈新語　蘭皐先生校本　一冊　六體千字文　崑陵先生書　一冊
王元美尺牘　一冊　猿橋碑銘　諸名家之文　一冊
　　筆墨味
易學辨疑　金峨先生著　一冊　字畫淵海　筆法之書　二冊
大史華句　唐本翻刻　三冊　石印集誼　彫刻刀法　二冊

抛入花の園　古人生花　一冊　寐惚先生文集　狂詩　一冊
生花千筋葉　乃景式　二冊　小説土平傳　和詩　一冊
古言捃　万葉集の詞　一冊　笑府　唐ノオーセハナレ　一冊
百人一首解　栗本氏作　一冊　唐明詩鍵　詩作ノ書　一冊
文案　ふくさ和文の　八冊　大東地名鑒　詩作ノ書　一冊
　　法帖を二集む
もろこし料理集　李庵の　一冊　詩學小成　詩作ノ書　四冊
　　料理
民間備荒録　西土の民を　二冊　入筆法帖　松花堂の　二冊
　　救ふの書也　書札
信濃地名考　春沢松雪著　三冊　常盤帖　松花堂の　二冊
　　書札奇特

七觀音經　略緣起入　全

唐摹真本十七帖　明邢子愿珍藏　東郭先生摹　全

解體新書　古瀨陀腑分之書　杉田玄伯著　五冊

同　約圖　同右　五枚

名物画楷　雪渓先生筆　二冊

繪本いろは歌　春信筆　三冊

繪本通俗三時　北尾重政筆　三冊

詩學楷梯　東里先生輯　四冊

諸藝名所方角集　谷素外輯　二冊

春靜堂

古言梯　餘稿

近刻

書林　同

江戸室町三丁目　須原屋市兵衛

大坂心斎橋順慶町　柏原屋清右衛門